



岐阜大学



国立大学法人

岐阜大学

岐阜大学概要 2018

GIFU UNIVERSITY



学長挨拶

President's Message

国立大学法人岐阜大学は「学び、究め、貢献する」「人が育つ場所」であり続ける、これが現在まで継承してきた、また今後とも継承する私どもの存在理念です。この理念に立脚して特に2016年4月ー2021年3月の第3期中期目標・中期計画期間に、岐阜大学は「地域活性化の中核拠点であると同時に、特定の強み・特色を有する領域で国際的／全国的な拠点を形成する」大学となります。なお後者の領域としては生命科学、環境・エネルギー科学、次世代ものづくり、医学教育開発を宣言しました。

さて、本学は5学部、4つの大学院修士課程、1つの大学院専門職学位課程、2つの大学院博士課程からなり、さらに3つの連合大学院で基幹校をつとめる中規模総合大学ですが、2004年の医学部・附属病院移転をもって全学部の現在地統合が完了しました。また敷地内には岐阜市立岐阜薬科大学3ー6年生用校舎・研究施設が建設され、2015年4月には岐阜県防災・減災センターも開設、2017年には岐阜県中央家畜保健衛生所とインフラミュージアムが稼働を開始しました。さらに岐阜県食品科学研究所、スマート金型開発拠点も開設準備が進行中であり、総合的な高等教育・研究の中心として一層の機能強化が図られます。なおキャンパス各施設の現状はこの概要の建物配置図(44-45ページ)でご覧いただけます。自然豊かな郊外のワン・キャンパスで学習できるという環境は岐阜大学の売りです。

一方、とくに都市部の大学では都心回帰が盛んなことは十分承知しています。岐阜大学についても多くの学生や職員から通学の不便さ(岐阜駅からオフアワーでも約30分)が指摘されています。このような動き、要望に対する私どもの対応は駅前サテライト・キャンパスの開設です。JR岐阜駅前2棟目の高層ビル「スカイウイング

37」(37階建て)の東棟4階部分を借り切り、2012年10月に新しい教育セクションを設けました。IT設備も万全です。さらに岐阜大学のみが使用するのではなく、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜に参画する23校(大学、短期大学、工業高等専門学校)との共同利用や、市民を対象としたセミナー、企業の催しについても、趣旨がサテライト・キャンパスの目的にそぐうものであれば受け入れ可能とし、実際、週末も含めかなりの使用実績を挙げています。特に2016年からスタートした新しい試みは、サテライト・キャンパスにおける全学共通教育1限目の8時間開講です。JRや名鉄で通学する学生諸君はこの講義を選択した後、バスで移動、2限目以降を柳戸キャンパスで受講すれば、朝のバスターミナルの混雑や交通渋滞を避けることが出来ます。また本学名誉教授陣による「岐阜大学サテライト・キャンパス公開講座“アカデミッククラブ”」も2016年4月から一般市民向けに開講しています。このシリーズは学問・文化の香りが高い、市民に人気の公開講座に育ちました。

次に、これからの岐阜大学がどのような方向に進んで行くのか。私どもは「人が学び育つ場所」としてあるべく各学部、各教職員が懸命の努力を積み重ね、人材すなわち高度職業人をこれまで多数輩出してきました。最近では、文部科学省の「地(知)の拠点(Center of Community; COC)」指定、その発展型であるCOC+事業の展開、両者の最優秀(S)評価獲得、南アジア地区における16大学からなる農学コンソーシアム(南アジア・コンソーシアム)結成、44大学からなる工学国際ネットワーク形成、「金型人材育成事業」、インフラ構造の維持管理にあたる「メンテナンス・エキスパート養成事業」、学校管理の高度専門職機能を育成する「教職大学院」、さらに「救急救命ネットワーク構築事業」、「国際教養コース」開設など、地域



活動から国際活動まで全国のモデルとなる大きな実績を上げています。これらをもって岐阜大学のプレゼンスを中部以外の地域や全国、また国際的に一層向上させ、学生諸君、保護者諸氏、地域住民の皆さん、広く納税者から、一層高い評価を頂戴できるよう率いるのが小生の責務と考えます。

また私どもはこれらの実績に大きな自負を抱いていますが、一方、私どもの教育、研究が地域の、全国の、さらには国際的な需要に合致するか否かを常に検証することの重要性も十分理解しているつもりです。なかでも今後は特に大学のグローバル展開がきわめて大きな重要性を持ちます。これまで以上に相互の流れを大きくすること、外国人留学生を現在の400名からより多く受け入れることに加え、まず岐阜大学の学生が海外へ出かけその地における様々な需要(課題)を把握し、岐阜大学でそれを解決する研究・学習を遂行する、その回答を持って真の海外貢献を行う、これらが私どもの目標です。この目的で2019年には海外の大学と協働でジョイント・ディグリー・コースが一気に4本立上ります。このように地域に根ざした国際化を展開し、その成果を国内外の地域に還元する「グローバル」なサービスを大学として行うことが重要です。また同様のアプローチを国内の様々な地域貢献についても行う、すなわちCOC事業、COC+事業の神髄はここにあると考えます。

世にいう学長のガバナンスはこれらを実現させるためのシンクタンク機能を形成し、それを指導する能力であり提案する能力と捉えています。大学のグローバル化はその実現経路上に予測でき、行き届いた視野を持つことにより現出するものと考えます。広く皆さんとともに進んで参ります。

岐阜大学長 森脇 久隆

Contents

学長挨拶	01
岐阜大学の理念と目標	02
岐阜大学憲章	03
岐阜大学の教育における3つの方針	04
環境への取り組み	05
大学組織	06
教育研究組織	07

教育 学ぶ岐阜大学

教育推進・学生支援機構	14
特色ある教育改革の取り組み	15
学生数	16
入学状況	18
学部卒業生数・進路状況	19
国家試験合格状況・教員採用状況	20
大学院修了者数・進路状況	21
学生支援施設	23
学生サークル活動	24

研究 究める岐阜大学

研究推進・社会連携機構	25
特色ある研究の取り組み	26
科学研究費助成事業	28
共同研究・受託研究	29
発明届	29

社会連携 貢献する岐阜大学

地域連携	30
公開講座・シンポジウム・フォーラム	31
市民大学講座	31
高大連携	31

国際交流

グローバル推進本部	32
留学生受入・派遣状況	33
学術交流協定締結大学等一覧	35
研究者受入・派遣状況	37
国際交流会館	37
海外オフィス	37

組織

役員等一覧	38
役員・職員数	40
予算	41
寄附金	41
沿革	42
歴代学長	43

キャンパス

建物配置図	44
土地・建物	46
所在地・交通案内	48

学び、 究め、 貢献する

〔学章〕



デザイン 元岐阜大学教授 坂井範一

1. 岐阜大学の学章は鵜舟と篝火を意味する。
篝火は学問を、舟は人類の幸福を意味するであろう。
1. 陰陽二体の組み合わせは天地自然を意味する。
総ての存在と活動、調和とバランスを意味するであろう。
1. 黒とオレンジ色の組み合わせは情熱を意味する。
また感性の豊かさや品位を意味するであろう。
1. 単純化された形は現代の清潔感と活動性を意味する。
それはまた時代の速度と知性を意味するであろう。

〔シンボルマーク〕



デザイン 宮川ヒロミ氏

創立60周年を迎えた平成21年、デザインを広く公募し決定した。岐阜の地での豊かな教育研究活動が、日本全体、世界へと発信されていくこと、そして岐阜大学学生が自らの将来に矢のようにまっすぐすすむことを祈念してデザインされている。また、学章が力強い弓と融合し、岐阜大学の頭文字「G」を形作っている。

〔理念〕

岐阜の地は、清流の国と称される豊かな自然に恵まれ、東西文化が接触する地理的条件や歴史的な背景による多様な文化と技術を創造し、伝承してきた。岐阜大学は、岐阜の地のこのような特性を継承するとともに、「人が育つ場所」という風土の中で「学び、究め、貢献する」人材を社会に提供する。そして法人自体も「学び、究め、貢献する」地域にとけこむ大学であるべきことを理念とする。岐阜大学は、全ての学部・研究科が1つのキャンパスにある特徴を教育・研究の両面に活かし、特に、高度な専門職業人の養成に主眼を置いた教育、教育の基盤としての質の高い研究、地域に根ざした国際化を展開する。さらに、これらの成果を地域還元することなどにより、地域社会の活性化の中核的拠点として、地方創生の一翼を担う。

〔目標〕

1. 教育

岐阜大学は、学生の主体的な学びを推進し、教育の質保証システムを充実させ、高度な専門職業人の養成と地域単位でのTeach for Communitiesを実現する。理工系の大学院修士課程に、デザイン思考の教育を導入し、リベラルアーツに関する共通教育を重点的に行うことによってイノベーションを支える人材の養成を強く進める。また、国際水準の医学教育開発の推進などに重点的に取り組む。

2. 研究

岐阜大学は、教育の基盤としての質の高い研究活動をそれぞれの分野で着実に実践する。その中でも本学の強みである生命科学分野、環境科学分野、ものづくり分野における岐阜大学の独創的な研究領域の先進的研究拠点形成を目指し、その成果を社会に還元する。

3. 国際化

岐阜大学は、地域に根ざした国際化と成果の地域還元によってグローバル化を実現する。多文化共生型による国際教養コースの設置、日本人学生と留学生の混在型教育の充実、留学生の組織化や就職支援の充実など、国際化につながる施策を推進する。

4. 社会貢献

岐阜大学は、地域志向を重視した教育、研究を実践し、国際化を推進することにより地域社会を支える。特に「地」×「知」の拠点(COC)整備事業は、県内外の他大学、自治体、地元企業等との連携を拡大したCOCコンソーシアムを形成することにより、地方創生推進事業への取り組みを一層量的に増大、質的に深化させる。また、大学病院を中心とした地域における高度医療拠点機能のさらなる充実、岐阜県と連携した地域社会への貢献事業を推進する。

学生憲章：「岐阜大学は学生に何を期待しているか」

学生の皆さん。岐阜大学で学ぶ数年間は、皆さんの人生において最も輝いている、それ故に最も大事な時間なのです。岐阜大学における学生生活は、将来の生き方を決める上でとても重要です。自ら進んで学問の基礎と高度な専門知識を学ぶと同時に、人間、自然、社会に対する豊かな感性と洞察力を磨いてください。大学の教職員は皆さんの期待に添うよう最善を尽くします。皆さんも努力してください。

- 本をたくさん読み、学んでいく上での土壌を作ろう。
- 文学と芸術を愛し、人間と自然への理解を深めよう。
- 専門職業人として、高度な専門知識を身につけよう。
- 自分の考えを論理的な文章にまとめ、発表できるようにしよう。
- 国際語である英語をマスターし、十分に意思疎通できる実力をつけよう。
- ICTの活用により、正しい情報の受信と発信ができるようにしよう。
- 長い人生を生きるための体力をつけ、健康を守ろう。

教員憲章：「岐阜大学の教員は何をすべきか」

岐阜大学は、「教育に軸足を置いた教育・研究大学」を理念としている。学生憲章にしたがい学生を教育し、優れた人材を社会に送り出すことが大学に課せられた最大の使命である。質の高い教育には、学問に対する情熱と質の高い研究の裏付けを必要とする。教員は独創的研究を進め、世界トップレベルの研究を目指す。教員は、教育者、研究者としての高度な倫理観が求められていることを常に意識しなければならない。日常生活、教育研究に取り組む姿、それらのすべてが学生に対する教育である。

- 教育に軸足を置いた教育・研究大学として、学生憲章に示す教育を実践する。
- 広い視野、深い専門知識、総合的な判断力と行動力をもった人材を育成する。
- 教育者、研究者としての倫理を常に自覚し、行動する。
- 目標を高くもち、世界トップレベルの研究を目指す。
- 長期的視点と広い視野で、独創的な研究を進める。
- それぞれの専門分野を通して、社会貢献に努める。

社会貢献憲章：「岐阜大学はどのように社会の要請と期待に応えるか」

法人化以前の大学は、『象牙の塔』という言葉に象徴されるように、社会から切り離された一段と高い存在のように思われていた。しかし、法人化後、大学はあらゆる面で社会から期待される存在になった。これを受けて、大学は積極的に社会に貢献しようと努めている。岐阜大学は、中部地域に立脚した国立の地方総合大学として、教育、研究、産業、医療、文化など、広く地域社会の要請と期待に応えられるよう努めなければならない。国際的にも、教育、研究面で貢献することが求められている。

- 優れた人材の育成が、大学に期待されている最大の社会貢献である。
- 地方総合大学の重要な役割は、地域社会との連携、協働である。
- 産官学間の連携により、地域産業の振興に貢献する。
- 地域住民、行政機関との協力により、地域の行政、経済、教育、文化の発展に貢献する。
- 附属病院は高度先進医療センターとして地域の医療に貢献する。
- 先進国、途上国と協力して国際的な社会問題の解決に貢献する。
- 海外の大学との連携および留学生教育を通して、国際社会に貢献する。

大学運営憲章：「期待に応える大学であるために何をすべきか」

教育、研究、社会貢献など大学に対する社会からの期待は大きい。中期目標、中期計画を策定し、それを確実に実行することが、社会の期待に応えるための基本となる。大学という、普通の社会一般の組織とは少なからず異なる独自の組織形態と価値観をもつ組織を、本来の目的に向かって進めるためには、学長のリーダーシップのもとに、役員と教職員が問題意識を共有し、大学運営に当たることが重要である。特に、戦略性を重視し、個性ある大学像を築くことが必須条件である。国立大学法人をめぐる厳しい財政状況下で、大学の活性を保ち、本来の任務である教育、研究、社会貢献を進めるためには、経営と管理運営に戦略性が必要である。

- 中期目標、中期計画を確実に実行する。
- 戦略性を重視し、明確な方針と学長のリーダーシップのもとに大学運営にあたる。
- 環境に配慮した運営を行い、教育、研究、社会貢献に反映させる。
- 厳しい財政状況を乗り越えるため、明確な経営戦略のもとに運営する。
- 外部資金の獲得に努め、財政基盤を強化する。
- 情報の透明性と公開性を重視するとともに、情報を適正に取り扱い、効率的かつ合理的な運営に活かす。
- 教職員に優れた人材を採用し、その育成に努める。
- 学生の教学データ、教員の教育研究活動実績等は大学の財産であり、教育の質向上、研究の推進等に活用する。

■ 岐阜大学の教育における3つの方針（学部）

<p>卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)</p>	<p>岐阜大学は、全ての学部が1つのキャンパスにある特徴を教育・研究の両面に活かし、高度な専門職業人の養成に主眼を置いた教育、教育の基盤としての質の高い研究、地域に根ざした国際化を展開しています。岐阜大学では「学び、究め、貢献する」人材を社会に送り出すことを理念・目標に掲げ、以下の基盤的能力及び専門的能力を総合的に身に付けた人に学士の学位を授与します。</p>		
<p>教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="470 499 925 622"> <ul style="list-style-type: none"> ●豊かな人間性を支える基盤的能力 <ul style="list-style-type: none"> － 考える力（総合的判断力） － 伝える力（コミュニケーション力） － 進める力（自立的行動力） </td> <td data-bbox="933 499 1455 622"> <ul style="list-style-type: none"> ●専門職業人として必要な専門的能力 <ul style="list-style-type: none"> － 社会に貢献できる専門的知識・技能 － 深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方 － 広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感 </td> </tr> </table> <p>岐阜大学は、基盤的能力及び専門的能力を備えた人材を育成するため、以下の方針に基づいて到達目標を明確にした体系的な教育課程を編成し、点検・評価を通じた不断の改革に取り組みつつ実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●豊かな人間性を支える基盤的能力を培う ●自らの学習成果を適切に評価し、自主的な学習に責任をもって取り組む態度を培う ●人文科学、社会科学、自然科学、外国語、健康科学にわたる教養教育を実施し、生涯学習の基礎を培う ●専門分野を生かした見方・考え方を培う ●社会的責任を果たすことができる倫理観を培う 	<ul style="list-style-type: none"> ●豊かな人間性を支える基盤的能力 <ul style="list-style-type: none"> － 考える力（総合的判断力） － 伝える力（コミュニケーション力） － 進める力（自立的行動力） 	<ul style="list-style-type: none"> ●専門職業人として必要な専門的能力 <ul style="list-style-type: none"> － 社会に貢献できる専門的知識・技能 － 深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方 － 広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感
<ul style="list-style-type: none"> ●豊かな人間性を支える基盤的能力 <ul style="list-style-type: none"> － 考える力（総合的判断力） － 伝える力（コミュニケーション力） － 進める力（自立的行動力） 	<ul style="list-style-type: none"> ●専門職業人として必要な専門的能力 <ul style="list-style-type: none"> － 社会に貢献できる専門的知識・技能 － 深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方 － 広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感 		
<p>入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)</p>	<p>岐阜大学は、自然豊かな1つのキャンパスで、幅広い分野において「学び、究め、貢献する」人材を育てます。大学での学修に必要な基礎知識と技能を備えており、次のような人の入学を期待しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●知的好奇心にあふれ、自ら進んで学ぼうとする人 ●さまざまな見方や論理的な考え方ができる人 ●相手の意見を聴き、自分の考えを伝えることができる人 ●積極的に課題を探求しようとする人 ●これからの地域や国際社会で活躍したい人 		



■ 岐阜大学の教育における3つの方針（大学院）

<p>修了認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)</p>	<p>岐阜大学大学院は、全ての研究科が1つのキャンパスにある特徴を教育・研究の両面に活かし、高度な専門職業人の養成に主眼を置いた教育、教育の基盤としての質の高い研究、地域に根ざした国際化を展開しています。岐阜大学では「学び、究め、貢献する」人材を社会に送り出すことを理念・目標に掲げ、以下の基盤的能力及び専門的能力を総合的に身に付けた人に学位を授与します。</p>		
<p>教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="470 1478 925 1601"> <ul style="list-style-type: none"> ●高度な専門職業人としての基盤的能力 <ul style="list-style-type: none"> － 考える力（総合的判断力） － 伝える力（コミュニケーション力） － 進める力（自立的行動力） </td> <td data-bbox="933 1478 1455 1601"> <ul style="list-style-type: none"> ●高度な専門的能力 <ul style="list-style-type: none"> － 社会に貢献できる高度な専門的知識・技能 － 深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方 － 広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感 </td> </tr> </table> <p>岐阜大学大学院は、基盤的能力及び専門的能力を備えた高度な専門職業人を養成するため、以下の方針に基づいて到達目標を明確にした体系的な教育課程を編成し、点検・評価を通じた不断の改革に取り組みつつ実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会に貢献できる高度な専門的知識・技能を培う ●深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方を培う ●広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感を培う 	<ul style="list-style-type: none"> ●高度な専門職業人としての基盤的能力 <ul style="list-style-type: none"> － 考える力（総合的判断力） － 伝える力（コミュニケーション力） － 進める力（自立的行動力） 	<ul style="list-style-type: none"> ●高度な専門的能力 <ul style="list-style-type: none"> － 社会に貢献できる高度な専門的知識・技能 － 深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方 － 広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感
<ul style="list-style-type: none"> ●高度な専門職業人としての基盤的能力 <ul style="list-style-type: none"> － 考える力（総合的判断力） － 伝える力（コミュニケーション力） － 進める力（自立的行動力） 	<ul style="list-style-type: none"> ●高度な専門的能力 <ul style="list-style-type: none"> － 社会に貢献できる高度な専門的知識・技能 － 深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方 － 広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感 		
<p>入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)</p>	<p>岐阜大学大学院は、自然豊かな1つのキャンパスで、幅広い分野において「学び、究め、貢献する」人材を育てます。大学院での学修と研究に必要な基礎的専門知識と技能を備えており、次のような人の入学を期待しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●知的好奇心にあふれ、自ら研究を行う意欲のある人 ●総合的かつ論理的にものごとを考えることができる人 ●広い教養と高い倫理観をもち、研究における社会的責任を認識している人 ●これからの地域や国際社会でリーダーとして活躍したい人 		

本学は、岐阜大学環境方針に基づき、
環境に配慮した特色ある諸活動を継続的に展開し、
地域社会に貢献し、地域とともにありつづける大学として
平成21年11月27日に「環境ユニバーシティ」を宣言しました。

【岐阜大学環境方針】

岐阜大学は、本学が掲げる理念を達成するとともに、「環境ユニバーシティ」としての取組みを継続発展させ、
環境に配慮した大学環境を創り出すとともに環境を担う優れた人材育成に努めます。

【基本方針】

1. 岐阜大学の特長を生かした環境教育・研究を推進します。
2. 教育・研究活動の環境側面を常に認識し、環境影響を評価し、環境汚染の予防に努めます。
3. 省エネルギー、省資源を推進し環境負荷の一層の軽減に努めます。
4. 教育・研究に関わる順守義務の適合に努めます。
5. 環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
6. 教育・研究を通して、気候変動の緩和及び生物多様性の保護に寄与します。
7. 毎年度活動目標を設定し、達成していきます。

岐阜大学は、この環境方針を学内外に周知し、広く公開します。

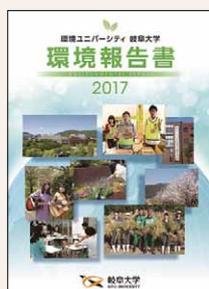
岐阜大学は、全学でISO14001を認証取得しています。(附属病院を除く)

本学は、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を、平成15年に地域科学部で認証取得してから、順次、その認証範囲を拡大し、平成25年には、附属病院を除く全学で認証取得しました。
平成28年には、新規格であるISO14001:2015の認証を取得し、新規格に基づいた運用を行っています。



環境報告書を発行しています。

岐阜大学の環境負荷の状況や環境配慮の取り組みを公表することを目的に、毎年9月に作成しています。



他大学との意見交換会



岐阜大学環境月間（毎年11月）

「環境ユニバーシティ」宣言日（平成21年11月27日）に因んで、毎年11月を岐阜大学環境月間と定め、さまざまな関連行事を行っています。



学生・教職員による
クリーンキャンパス



環境ユニバーシティフォーラム



学生による
ISO14001の内部監査



「ISO14001 内部環境監査員養成研修」
修了証書授与式



■ 学部

教育学部 2 課程 11 講座	学校教育教員養成課程	講座	国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育, 技術教育, 家政教育, 英語教育, 学校教育
	特別支援学校教員養成課程		
		附属施設	附属特別支援教育センター
			附属学習協創開発研究センター 附属小学校 附属中学校
地域科学部 2 学科 4 講座	地域政策学科	講座	地域政策, 地域環境
	地域文化学科		地域文化, 地域構造
医学部 2 学科	医学科	学科目	人体構造学, 神経構造機能学, 分子医学, 生体機能学, 病原体学, 薬理・中毒学, 病理学, 地域・産業保健学, 循環器・呼吸器・腎尿路学, 消化器・検査医学・血液腫瘍学, 内分泌代謝学, 神経・精神・行動学, 成育学, 生命倫理・法医学, 臨床遺伝・臨床倫理, 皮膚科学, 免疫応答学, 感覚器医学, 運動器学, 麻酔疼痛制御・救急災害, 画像診断・放射線治療
	看護学科	講座	基礎看護学, 母子看護学, 成人・老年看護学, 地域・精神看護学
		附属施設	附属病院 附属地域医療医学センター
工学部 4 学科 9 コース	社会基盤工学科	コース	環境, 防災
	機械工学科		機械, 知能機械
	化学・生命工学科		物質化学, 生命化学
	電気電子・情報工学科		電気電子, 情報, 応用物理
		附属施設	附属インフラマネジメント技術研究センター 附属知能科学研究センター 附属応用気象研究センター ものづくり技術教育支援センター
			共同研究講座 スマートグリッド電力制御工学共同研究講座
応用生物科学部 2 課程 1 学科	応用生命科学課程	コース	分子生命科学, 食品生命科学
	生産環境科学課程		応用植物科学, 応用動物科学, 環境生態科学
	共同獣医学科		
		附属施設	附属岐阜フィールド科学教育研究センター 附属動物病院 附属野生動物管理学研究センター 《寄附研究部門：鳥獣対策研究部門（岐阜県）》 附属共同獣医学教育開発推進センター 附属家畜衛生地域連携教育研究センター



教育学部



地域科学部



医学部 / 同附属病院



工学部 / 応用生物科学部

■ 大学院

教育学研究科	専門職学位課程	教職実践開発専攻	コース	学校管理職養成, 教育実践開発				
	修士課程	心理発達支援専攻	コース	臨床心理学, 学校心理学, 特別支援教育				
		総合教科教育専攻		言語社会, サイエンス, 芸術身体表現, カリキュラム開発				
地域科学研究科	修士課程	地域政策専攻	領域	経済社会, 行政社会, 自然環境				
		地域文化専攻		社会生活, 人間文化				
医学系研究科	博士課程	医科学専攻	講座	分子・構造学	細胞情報学, 薬理病態学, 寄生虫学・感染学, 遺伝発生学, 内分泌代謝病態学, 小児病態学, 病態情報解析医学			
				病態制御学	解剖学, 分子病態学, 循環病態学, 呼吸病態学, 高度先進外科学, 整形外科, 皮膚病態学, 泌尿器科学, 麻酔・疼痛制御学, 口腔病態学			
				神経統御学	分野	高次神経形態学, 生理学, 神経内科・老年学, 精神病理学, 脳神経外科学, 耳鼻咽喉科学, 眼科学, 脳病態解析学		
				腫瘍制御学	腫瘍病理学, 形態機能病理学, 腫瘍外科学, 消化器病態学, 血液病態学, 産科婦人科学, 放射線医学, 疫学・予防医学, 臨床腫瘍学			
				医療管理学	医療情報学, 総合病態内科学, 臨床薬理学, 医療経済学, 救急・災害医学, 法医学, 産業衛生学, 医学教育学			
	博士課程	再生医科学専攻	講座	再生分子統御学	組織・器官形成, 神経生物, 病原体制御学			
				再生工学	分野	生命機能分子設計, 知能イメージ情報		
				再生応用学	循環呼吸制御学, 医学系倫理・社会医学			
	修士課程	看護学専攻	領域	看護学教育	分野	継続看護学教育	専門分野	看護学教育, 生体システム学
				実践看護学		母子看護学		母性看護学, 小児看護学
成人看護学						急性期看護学, 慢性期看護学		
地域健康援助学						地域看護学, 精神看護学, 老年看護学		
工学研究科	博士課程	生産開発システム工学専攻	講座	社会基盤工学, 生産基礎工学				
		物質工学専攻		応用材料化学, 応用分子化学				
		電子情報システム工学専攻		電子物性工学, 知能情報工学				
		環境エネルギーシステム専攻		環境システム, 再生可能エネルギーシステム, 環境基礎科学, グローバル環境・エネルギー, 新機能エネルギー材料学				
	自然科学技術研究科	修士課程	生命科学・化学専攻	領域	生命工学創薬, 生命工学化学, 分子生命科学, 食品生命科学			
			生物生産環境科学専攻		応用植物科学, 応用動物科学, 環境生態科学			
			環境社会基盤工学専攻		環境, 防災			
			物質・ものづくり工学専攻		物質化学, 設計生産			
			知能理工学専攻		知能機械, 知能情報学, 応用数学物理			
			エネルギー工学専攻		エネルギー変換, 電気エネルギー			
連合農学研究科	博士課程	生物生産科学専攻	連合講座	植物生産管理学, 動物生産利用学				
		生物環境科学専攻		環境整備学, 生物環境管理学				
		生物資源科学専攻		生物資源利用学, スマートマテリアル科学, 生物機能制御学				
連合獣医学研究科	博士課程	獣医学専攻	連合講座	基礎獣医学, 病態獣医学, 応用獣医学, 臨床獣医学				
連合創薬医療情報研究科	博士課程	創薬科学専攻	研究領域	生命分子科学, システム生命工学				
		医療情報学専攻	寄附講座	紅豆杉研究室				
			研究領域	生命情報, 生体制御				

■ 図書館

蔵書数

平成30年4月1日現在

区 分	図書(冊)			雑誌(種)		
	和書	洋書	計	和雑誌	洋雑誌	計
図 書 館	529,227	217,897	747,124	9,653	3,884	13,537
医学図書館	80,639	86,057	166,696	1,506	1,793	3,299

ElsevierやSpringer等の電子ジャーナル約7,400タイトル、ネットライブラリー等の電子ブック約7,500タイトル、ScopusやSciFinderScholar等のデータベースを導入している。



受付カウンター 入館ゲート

開館時間・休館日

区 分	月～金曜日	土曜日	日、祝日(試験期間のみ)	休館日		
図 書 館	9:00～21:30*1)	10:00～18:00	10:00～18:00	日曜日、祝日*2)	夏季一斉休業日(8.13～15) 年末年始(12.28～1.4)	学休期間の 一部土曜日
医学図書館	8:30～20:00*1)	10:00～18:00		日曜日、祝日	夏季一斉休業日(8.13～15) 年末年始(12.28～1.4)	

備考 休館日若しくは閉館時間を変更する場合がある。 *1) 一部平日に短時間開館あり(開館予定表は図書館ホームページにて)。 *2) 試験期間を除く。

利用状況(平成29年度)

区 分	区 分	教職員	学生	学外者	計
	医学図書館	5,802	38,862	5,454	50,118
	計				235,846
貸出冊数(冊)	図書館	3,950	38,298	634	42,882
	医学図書館	1,295	11,136	20	12,451
	計	5,245	49,434	654	55,333
文献複写数(件)	図書館	3,293	752	4,045	
	医学図書館	1,948	1,323	3,271	
	計	5,241	2,075	7,316	

備考 開館日数 図書館：280日、医学図書館：286日
*1) グループ学習スペースや各種新聞等が利用可能な学習支援の場



本館

コレクション

コレクション名	摘 要
静嘉堂文庫所蔵国語学資料集成	国語学関係の写本・版本・活字本(明治時代)472点、769冊のマイクロフィルム版
静嘉堂文庫所蔵歌学資料集成	和歌および連歌俳諧などの古典籍資料1,333点、3,192冊のマイクロフィルム版
大東急記念文庫所蔵江戸文学総覧	江戸文学878点、1,530冊の原本のマイクロフィルム版
大東急記念文庫所蔵古写古版物語文学総覧	古物語、説話物語、歴史物語などの物語文学95点、695冊のマイクロフィルム版
環境問題研究コレクション	世界各地の環境問題研究の文献 雑誌19点、叢書26点、図書200冊のコレクション
明治・大正・昭和期教育関係新聞雑誌 完全復刻版コレクション	明治・大正・昭和の教育関係新聞雑誌の完全復刻版コレクション
Landolt-Börnstein数値表 第1群 原子核・素粒子物理学	原子核・素粒子物理学に関する数値表
ウェブスター：アメリカ英語辞書 コレクション	ウェブスター辞書の1806年の初版本から1943年までに刊行された辞書の異版100点、108冊の英語辞書コレクション
特別資料(貴重書)	本学の前身である岐阜師範学校、岐阜高等農林学校、県立医科大学当時に収集された江戸、明治時代の和本及び中国の漢籍を中心に約1,500点を特別資料庫に収蔵



ブラウジングコーナー



貴重書の一部
奈良絵本「小しぎぶ」2冊

■ 医学部附属病院

医学部附属病院は、県下唯一の大学医学部附属病院、特定機能病院として先進・高度医療を担い、がん・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病・精神疾患の5疾病及び救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療の5事業に積極的に取り組んでおり、難病疾患やがん、肝炎、AIDS等の診療拠点病院に指定されている。平成30年3月には、新たに原子力災害拠点病院に指定された。

また、国から高度救命救急センターに指定されており、院内の「高次救命治療センター」において、第三次救急患者の受け入れ、「岐阜県ドクターヘリ事業」の基地病院として活躍している。平成30年4月からは、岐阜市消防本部と連携した「ドクターカー事業」を開始し、より一層地域の救急医療・災害医療の貢献に取り組んでいる。

本院は「社会と医療のニーズに応える病院」を目指しており、特に安心・安全を基盤とした特定機能病院として、より先進的な医療を提供すると同時に地域に密着した病院としての役割を果たすべく、医療安全、臨床研究の推進、国際的にも活躍できる人材育成、よりよい医療の提供に取り組んでいる。



医学部附属病院

患者数 (平成29年度)

入院	患者延数	198,028人	外来	初診延患者数	17,110人
	1日平均患者数	542.54人		再診延患者数	317,068人
	病床稼働率	88.4%		計	334,178人
	入院稼働日数	365日		一日平均患者数	1,369.6人
				外来診療日数	244日

診療科及び病床数

平成30年4月1日現在

区分	病床数	区分	病床数
第1内科	64	耳鼻咽喉科	33
血液内科		形成外科	13
第2内科	53	皮膚科	20
第3内科	21	泌尿器科	37
神経内科・老年内科	13	精神神経科	28
総合内科	12	小児科	1
第1外科	43	放射線科	1
第2外科	58	麻酔科・疼痛治療科	8
産科婦人科	32	歯科口腔外科	28
整形外科	49	高次救命治療センター	6
脳神経外科	37	ICU	12
眼科	14	新生児集中治療部	31
		共通	
		計	614

患者数の推移



中央診療施設等		
検査部	医療連携センター	新生児集中治療部
手術部	生体支援センター	オートプシー・イメージングセンター
放射線部	がんセンター	脳卒中センター
材料部	エイズ対策推進センター	遺伝子診療部
輸血部	肝疾患診療支援センター	ベッドコントロールセンター
病理部	リハビリテーション部	術前管理センター
総合診療部	周産期・生殖医療センター	入院センター
医療情報部	医療機器センター	呼吸器センター
光学医療診療部	高次画像診断センター	栄養管理室
高次救命治療センター		

医療安全管理室
薬剤部
看護部
診療録管理室
医師育成推進センター
内視鏡外科手術トレーニングセンター
先端医療・臨床研究推進センター
臨床倫理室
さわやかサービス推進室

■ 応用生物学部附属動物病院

応用生物学部附属動物病院は、獣医学の教育・研究・診療を実践する中部地区で唯一の施設である。近年の診療件数の増加に対応するため、またペットオーナーの求める高度な動物医療を提供するため、平成22年4月に新病棟とリニアック棟、同24年4月にMRI棟を増築した。新病棟は個室型の診察室、脳外科手術にも対応できる陽圧手術室、集中治療室などを備え、画像診断装置など最新の医療設備と電子カルテを導入した先進施設である。また、リニアック棟には国立大学では初めてとなる高エネルギー型放射線治療器、MRI棟にはMRI磁気共鳴断層装置を導入した。本院の特色は、伴侶動物を診療する内科、外科、腫瘍科、麻酔科、神経科と産業動物を診療する産業動物科を設置していることである。内科、外科、腫瘍科、麻酔科、神経科には東海地区をはじめ近畿、北陸地区の個人病院から年間のべ約8600件の症例が紹介されてくる。一方、産業動物科は、岐阜地区における産業動物診療の一翼を担っている。



診療科及び病床数

平成30年4月1日現在

名称	床面積 (㎡)	主な施設
新病棟	911	1階：診察室（7室）、超音波検査室、処置室、第1検査室、薬室、受付事務室 2階：陽圧手術室、一般手術室（3手術台）、手術準備室、集中治療室、回復室、仮眠室（2室）
リニアック棟・MRI棟	327.55	高エネルギー型放射線治療室、磁気共鳴断層検査室、操作室
本館（1階）	438	内視鏡・腹腔鏡検査室、歯科口腔外科診療室、X線・画像解析室、第2検査室、病院長室・相談室、動物病院事務室
CT棟	47	X線CT撮影室、操作室
動物管理棟	260	動物入院室、供血動物室、医局
合計	1,983.55	

動物種類別の診療件数(延べ)

年度	伴侶動物（件数）			計	産業動物（件数）				計	総計
	犬	猫	その他		牛	馬	豚	鶏・山羊		
27	7,664	1,294	2	8,960	154	2	0	4	160	9,120
28	7,555	1,488	0	9,043	171	5	0	0	176	9,219
29	6,781	1,243	0	8,024	6	10	10	2	28	8,052

内科、外科・神経科・麻酔科、腫瘍科の診療件数(延べ)の推移



■ 医学教育共同利用拠点

医学教育開発研究センター

医学教育に貢献できる人材育成と、国内外の医学教育機関との連携・共同研究を推進する全国共同利用施設として2001年に設立された。2010年4月には全国唯一の「医学教育共同利用拠点」として文部科学省から認定され、2015年4月からさらに5年間の拠点継続が承認された。拠点事業として毎年4回開催する「医学教育セミナーとワークショップ」は全国規模の教員養成プログラムとして高く評価されている。また、全国の医学部・医療系教育機関でリーダーとなる人材を育成するプログラムを開始し、修了者を「MEDCフェロー／アソシエイト」として認定する制度を開始している。

テュートリアル部門では少人数能動型の問題基盤型学習（PBL）の普及・改善に取り組み、バーチャルスキル部門では、模擬患者参加型のコミュニケーション教育・シミュレーション教育の開発に取り組んでいる。プロフェッショナルリズム教育、アウトカム基盤型医学教育、コンピュータ支援学習、ポートフォリオ評価システム、国際交流と医療英語教育、医学教育学の大学院教育（博士課程）にも力を入れている。

[テュートリアル部門、バーチャルスキル部門]



テュートリアル教育



模擬患者実習



医学教育ワークショップ



スキルラボ実習

■ 共同教育研究施設等



■ サテライトキャンパス等

岐阜大学サテライトキャンパス【平成24年10月設置】

(岐阜市吉野町6丁目31番地 岐阜スカイウイング37 東棟4階)

サテライトキャンパスは、JR岐阜駅に直結しており、講義やゼミ、講演会、研究発表等に使用可能な多目的講義室、学生が自学自習できるラーニングcommons、企業相談等に利用できるミーティングルームを備えている。

本学学生・教職員の他、卒業生、地域の方が利用でき、本学における教育研究の推進、学生の活動、地域貢献、情報発信のための活動拠点である。



岐阜スカイウイング37

01	03
02	04

01 流域圏科学研究センター

岐阜大学の環境科学研究の中核として、流域圏における植生系、河川水系、土地地盤系などの多様な自然科学的・人為的事象の解明、および流域圏環境保全・防減災に関する学術研究・技術開発を行うことによって、流域圏の保全と持続的な発展に資する学術研究分野「流域圏科学」を国内外の大学や研究機関、関連コミュニティ、地域社会と連携しながら醸成している。

[植生資源研究部門、水系安全研究部門、流域情報研究部門、高山試験地、流域水環境リーダー育成プログラム推進室、共同研究支援室]

02 地域協学センター

地域志向を持ち、地域から求められ、地域を担うことができる人材を輩出し、地域が抱える課題解決を図るため、地域と協働した活動を推進し、地域社会の活性化に貢献することを目的としている。平成25年度に採択された文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」の実施支援機関として設置された。

「次世代地域リーダーの育成」、「地域志向学の推進」及び「多様な人々が集い議論する『場』（ぎふフューチャーセンター）の形成」を3つの柱として地域志向の取組み（岐阜大学COC事業）を推進しているほか、平成27年度には文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」にも採択され、地域に定着して地域産業の活性化に貢献できる人材の育成にも取り組んでいる。

03 グローカル推進本部 日本語・日本文化教育センター（旧 留学生センター）

外国人留学生の日本語・日本文化に関する教育、外国人留学生の修学に関する指導・助言を行っている。さらに、学術交流協定校とのサマースクール（受入）の企画・運営、全学共通教育における日本人学生と外国人留学生を対象とした異文化交流に関する授業も実施し、留学生交流を中心に大学の国際化に寄与している。

また、センターには、「交流ラウンジ」があり、ラウンジでは外国人留学生と日本人学生との交流や学習、チューターによる学習の支援、留学等の情報収集の場として多様な活動を通し、本学の留学生交流の促進を図っている。

04 保健管理センター

学生及び職員の健康増進、ならびに学生の安全衛生環境保持・改善を図るために、学内の保健計画の立案・実践について指導援助している。学生の健康診断の実施とそれに基づく生涯の健康を守るための保健指導、就学支援、救急処置、健康相談、健康啓発活動と、その業務は多彩である。

また、学生の健康に関する調査・研究を行い、学内の施策提言につなげているほか、県内の各大学と協働し、その中核として大学生の健康管理に関する研究会を主催し、地域貢献を担っている。

岐阜大学旧早野邸セミナーハウス【平成25年4月設置】 （大垣市昼飯町1777）

旧中山道沿いの大垣市昼飯町にある本学第7代学長早野三郎氏ゆかりの家を活用した本学の活動拠点である。

授業、講演等に使用可能なセミナー室、地域の歴史と文化に係る資料や学生の制作物等を展示する展示室、フィールドワークの活動拠点として利用できるミーティング室を備えている。



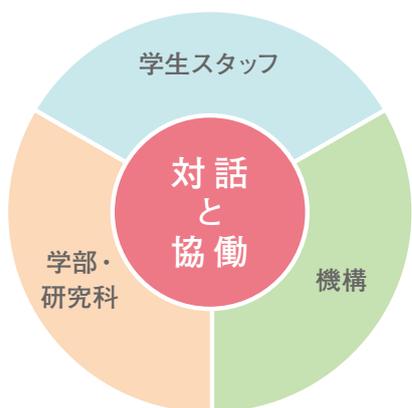
旧早野邸セミナーハウス

学ぶ岐阜大学

■ 教育推進・学生支援機構

[体制図]





機構／学部のマトリクス型組織

学部における専門教育と機構が責任をもつ基盤教育を融合する構造

個別最適の成果を全体最適へ還流

学部等が蓄積してきた実績を、全体最適の観点から大学全体へ適用

組織文化の変化を伴うガバナンス改革

対話と協働を活用した合意形成と改革の浸透

整備された教育環境

統合されたワンキャンパスは、日常的に対話と協働ができる場所

機構には、機構長の諮問に応じて助言又は提言を行うとともに、教育効果の評価分析及び全学FDの企画運営にあたる組織として「教学企画室」が置かれている。

また、企画立案および計画実施のため、7部門(学生受入部門、教養教育推進部門、学修支援部門、学生生活支援部門、地域教育連携部門、教職課程支援部門、キャリア支援部門)の業務実施組織が置かれている。平成30年度からは、全学共通教育における英語教育の充実のため、イングリッシュ・センターが置かれている。

本機構の主な業務は、次のとおり。

- ① 全学的教育の推進及び改善に関すること。
- ② 教養教育の企画及び実施に関すること。
- ③ 学生の受け入れ、学修支援、学生生活支援、キャリア支援等の企画及び実施に関すること。
- ④ 地域教育連携の企画及び実施に関すること。
- ⑤ 教職課程支援及び教員教育連携の推進に関すること。
- ⑥ 教育効果の評価及び分析に関すること。
- ⑦ その他教育機構の目的を達成するために必要なこと。

岐阜大学では、「学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」、そして「入学者受入の方針(アドミッション・ポリシー)」の3つの方針を大学全体として策定するとともに、大学として全教育活動を通して身につけさせたい能力として「基盤的能力」を示し、学部等の「専門的能力」と合わせて養成することを目指している。

学生の主体的な学修を促すため、①学生の入学から卒業・修了までの一貫した学修支援・学生生活支援体制を強化すること。②3つの方針に沿った学部・研究科の実践を絶えず確認し、よりよいシステムとしていくこと。そして、③各学部の潜在的な教育力を引出し、大学全体としての教育力を高めること。これらの目標を実現するためには、全学の教育活動を俯瞰しつつ、企画立案し、各学部・研究科の教育活動の改善を推進するとともに、学生自身の学びを支援するしくみが必要になる。

教育推進・学生支援機構(以下、機構)は、機構と学部・研究科、学生スタッフが相互に「対話と協働」を展開しながら、先にあげた目標を実現していくことを大きな特徴としている。学内の様々な部局からスタッフが集い、平成25年12月にスタートした。

■ 特色ある教育改革の取り組み

文部科学省は、大学改革の取組が一層推進されるよう、競争的環境の下で、各大学の特色・個性ある優れた取組を選定、支援している。岐阜大学は、各種プログラムに積極的に応募し、採択されている。

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)

年度	プログラム名	事業協働機関
平成27～31年度	岐阜でステップ×岐阜にプラス 地域志向産業リーダーの協働育成	岐阜大学、中部学院大学、中部大学、日本福祉大学、名古屋学院大学、岐阜県、(一社)岐阜県経営者協会、(株)十六銀行、(株)大垣共立銀行、(株)マイナビ
<p>本事業は、大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的としている。</p> <p>岐阜大学は地域にとけこむ大学を目指して、現行COC事業では、自らの専門性を生かして地域の課題解決に取り組み、地域のリーダーとして活躍できる地域志向人材の育成を進めている。一方、岐阜県の人口は流出超過で特に20歳代で職業上の理由から愛知県に転出するケースが最も多く、県内企業の魅力を理解し、地域に定着して地域産業の活性化に貢献できる人材の育成が求められている。</p> <p>そこで、岐阜をフィールドに自治体や企業等と協働し産業界との関わりを強化して、岐阜大学がインターンシップを核とした3ステップ(①聞く・見る②挑戦する③活躍する)の教育プログラムを実施し、岐阜県内の大学に加えて愛知県の現行COC事業採択大学とも連携した共通の教育プログラムとすることで産業界ニーズにより適合した人材を育成すること、及び産官学共同研究を通じた事業拡大等による雇用創出を促進することで、地元就職とUターン就職を推進し、地方創生に貢献する。</p>		

学生数

学部学生

平成30年5月1日現在(人)

学 部	学科等	入 学 員	編入学	現 員						計
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
教育学部		250		259 (154)	256 (157)	251 (153)	278 (154)			1,044 (618)
地域科学部		100	10	105 (58)	110 (73)	122 (73)	131 (77)			468 (281)
医学部	医学科	110		114 (28)	124 (39)	110 (39)	102 (31)	108 (24)	104 (28)	662 (189)
	看護学科	80	10	82 (79)	83 (80)	82 (80)	73 (70)	1 (0)	1 (0)	320 (309)
工学部		510	30	551 (98)	538 (87)	554 (94)	604 (99)			2,247 (378)
応用生物科学部	応用生命科学課程	160	10	170 (89)	172 (87)	172 (93)	193 (112)			707 (381)
	生産環境科学課程			2 (1)	1 (0)	2 (1)			5 (2)	
	共同獣医学科*1	30		32 (18)	33 (17)	34 (22)	30 (16)	36 (17)	29 (18)	194 (108)
合 計		1,240	60	1,313 (524)	1,316 (540)	1,325 (554)	1,411 (559)	144 (41)	133 (46)	5,642 (2,264)
				10 (5)	10 (1)	15 (9)	12 (2)	1 (0)	1 (0)	49 (17)

現員には外国人留学生を含み、()内は女子を、下段は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

*1 共同獣医学科の現員には、名称変更前の獣医学課程の在籍者を含む。

大学院学生

専門職学位課程(教職大学院課程)

平成30年5月1日現在(人)

研 究 科	課 程	入 学 定 員	現 員			学 位 名
			1年次	2年次	計	
教育学研究科	専門職学位課程	25	23 (8)	29 (8)	52 (16)	教職修士(専門職)

修士課程, 博士前期課程

平成30年5月1日現在(人)

研 究 科	課 程	入 学 定 員	現 員			学 位 名
			1年次	2年次	計	
教育学研究科	修士課程	44	34 (13)	52 (19)	86 (32)	修士(教育学)
地域科学研究科	修士課程	20	1 (1)	3 (3)	4 (4)	修士(地域科学)
			20 (11)	30 (19)	50 (30)	
医学系研究科	修士課程	8	13 (9)	17 (11)	30 (20)	修士(看護学)
工学研究科	博士前期課程		4 (4)	18 (16)	22 (20)	修士(工学)
				10 (0)	10 (0)	
応用生物科学研究科	修士課程			2 (0)	2 (0)	修士(応用生物学)
				9 (4)	9 (4)	
自然科学技術研究科	修士課程	375	6 (2)	6 (2)	6 (2)	修士(応用生物学又は工学)
			484 (97)	432 (85)	916 (182)	
			36 (9)	29 (10)	65 (19)	

博士課程, 博士後期課程

平成30年5月1日現在(人)

研 究 科	課 程	入 学 定 員	現 員					学 位 名
			1年次	2年次	3年次	4年次	計	
医学系研究科*1	博士課程	47	25 (8)	40 (12)	36 (12)	84 (26)	185 (58)	博士(医学)
	博士後期課程	6	2 (1)	2 (1)	4 (2)	4 (2)	6 (3)	博士(再生医学)
工学研究科	博士後期課程			7 (2)	31 (10)		38 (12)	博士(工学)
	博士課程	27	5 (2)	13 (6)		18 (8)		
連合農学研究科	博士課程*2	20	32 (4)	27 (9)			59 (13)	博士(農学)
			18 (4)	10 (5)			28 (9)	
連合獣医学研究科	博士課程	6	36 (16)	18 (7)	50 (15)		104 (38)	博士(獣医学)
			23 (13)	12 (5)	21 (9)		56 (27)	
連合創薬医療情報研究科	博士課程*2	6	18 (7)	28 (9)	23 (9)	46 (14)	115 (39)	博士(工学又は医学又は薬科学)
			4 (1)	7 (3)	10 (5)	15 (6)	36 (15)	
			5 (2)	7 (5)	11 (2)		23 (9)	
大学院生 合計		584					1,677 (458)	
							255 (109)	

現員には外国人留学生を含み、()内は女子を、下段は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

*1 医学系研究科の現員には、改組前の医学研究科の在籍者を含む。

*2 連合農学研究科及び連合創薬医療情報研究科は、後期3年みの博士課程。

配置大学別学生数

平成30年5月1日現在 (人)

研究科	配置大学	現 員				計
		1年次	2年次	3年次	4年次	
連合農学研究科	静岡大学	6 (2)	2 (1)	10 (2)		18 (5)
	岐阜大学	30 (14)	16 (6)	40 (13)		86 (33)
連合獣医学研究科	帯広畜産大学	1 (1)	8 (3)	5 (3)	8 (1)	22 (8)
	岩手大学		5	1	5 (1)	11 (1)
	東京農工大学	4	10 (5)	11 (3)	17 (9)	42 (17)
	岐阜大学	13 (6)	5 (1)	6 (3)	16 (3)	40 (13)
合 計		54 (23)	46 (16)	73 (24)	46 (14)	219 (77)

現員には外国人留学生を含み、()内は女子を内数で示す。

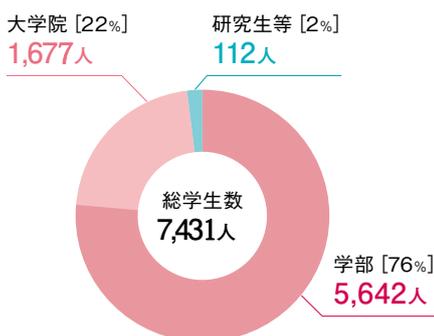
研究生・科目等履修生・聴講生等

平成30年5月1日現在 (人)

部 局 等	研 究 生	特別研究学生	科目等履修生	聴 講 生	特別聴講学生	現職教育 内地留学生	日本語・ 日本文化 研修留学生	計
教育学部			3	2	1 (1)			6 (1)
地域科学部	13 (13)				4 (4)			17 (17)
医学部	16 (2)			2				18 (2)
工学部	12 (11)							12 (11)
応用生物科学部	2 (1)			1				3 (1)
教育学研究科	1 (1)	1 (1)		1				3 (2)
地域科学研究科								
医学系研究科			2					2
工学研究科								
自然科学技術研究科	5 (5)							5 (5)
教育推進・学生支援機構				2				2
研究推進・社会連携機構 科学研究基盤センター	1							1
グローバル推進本部 日本語・日本文化教育センター (旧 留学生センター)					6 (6)		8 (8)	14 (14)
ネットワーク大学コンソーシ アム岐阜*					29			29
合 計	50 (33)	1 (1)	5	8	40 (11)		8 (8)	112 (53)

*ネットワーク大学コンソーシアム岐阜とは、岐阜県と県内22大学等からなる大学連合。学生は、単位互換制度のもとに他大学の授業を受講し、単位を修得すれば自校の単位として認定される。()内は外国人留学生を内数で示す。

総学生数



附属学校

平成30年5月1日現在 (人)

学 校 名	学 級 別	学 級	入 学 定 員	現 員
教育学部附属小学校	通常学級	18	105	625
	特別支援学級	3	4	19
教育学部附属中学校	通常学級	12	160	480
	特別支援学級	3	8	24
合 計				1,148

入学状況

学部

平成30年度(人)

学 部	1 年次入学					3 年次編入学				
	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
教育学部	250	1,651	1,112	280	259	-	-	-	-	-
地域科学部	100	637	451	114	105	10	39	36	12	10
医 学 部	医学科	110	1,339	574	114	111	-	-	-	-
	看護学科	80	379	262	84	81	10	5	5	0
工 学 部	510	2,633	1,906	589	535	30	127	114	51	34
応用生物科学部	応用生命科学課程 生産環境科学課程	160	527	371	185	170	10	33	32	13
	共同獣医学科	30	156	147	32	32	-	-	-	-
合 計	1,240	7,322	4,823	1,398	1,293	60	204	187	76	54

※医学科の受験者数は、第1段階選抜（一般入試・後期日程において実施）で不合格となった者を含まない。※外国人留学生を含む。

大学院

平成30年度(人)

研究科等	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
教育学研究科	専門職学位課程（教職大学院課程）	25	26	26	26
	修士課程	44	68	65	47
地域科学研究科	修士課程	20	35	33	21
医学系研究科	看護学専攻（修士課程）	8	4	4	4
	医科学専攻（博士課程）	47	27	27	22
	再生医科学専攻（博士課程）	6	2	2	2
工学研究科	博士課程	27	26	24	24
自然科学技術研究科	修士課程	375	584	577	541
連合農学研究科	博士課程	20	27	24	22
連合獣医学研究科	博士課程	6	11	11	11
連合創薬医療情報研究科	博士課程	6	5	5	5
合 計	584	815	798	725	642

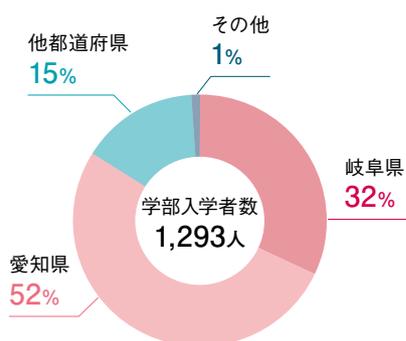
※入学者数は、4月入学者数（10月入学予定者は、医学系研究科医科学専攻に2名、連合農学研究科に5名あり）※外国人留学生を含む。

出身高校等の所在地別入学状況(学部・3年次編入学除く)

平成30年度(人)

学 部	岐阜県	愛知県	静岡県	滋賀県	京都府	三重県	兵庫県	大阪府	他都道府県	*その他	計
教育学部	126	102	8	5	0	3	0	1	13	1	259
地域科学部	57	39	0	1	0	1	0	0	4	3	105
医 学 部	72	74	5	0	9	1	6	3	20	2	192
工 学 部	126	363	4	8	4	7	3	4	12	4	535
応用生物科学部	39	88	8	7	4	4	7	6	37	2	202
合 計	420	666	25	21	17	16	16	14	86	12	1,293

※その他には高等学校卒業程度認定試験、外国の学校等を含む。※外国人留学生を含む。



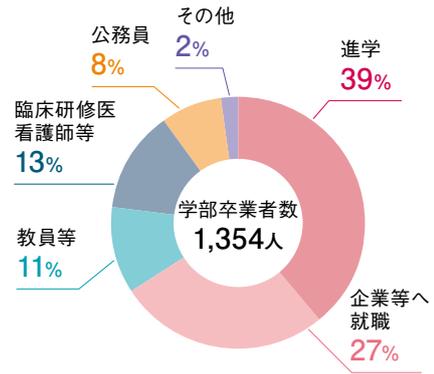
■ 学部卒業生数・進路状況

学部卒業生数

学 部 名		平成 29 年度	累 計
教育 学 部		253	18,209
地域科学部		119	2,045
医 学 部		183	5,208
工 学 部	昼間コース	594	23,760
	夜間主コース	0	847
応用生物科学部		205	13,153 *
計		1,354	63,222

*農学部卒業生を含む。

卒業生進路状況



平成29年度卒業生進路状況

進路状況

平成30年5月1日現在 (人)

区 分	学 部 名		医 学 部		工 学 部	応用生物科学部	計
	教育学部	地域科学部	医 学 科	看護学科			
卒業生数	253 (146)	119 (76)	106 (27)	77 (72)	594 (90)	205 (117)	1,354 (528)
進学者数	31 (13)	5 (2)		2 (2)	382 (41)	101 (48)	521 (106)
就職者数	217 (132)	108 (71)		73 (68)	202 (48)	99 (67)	699 (386)
社会人学生 (現職にとどまる者)		1					1 (0)
臨床研修医			101 (26)				101 (26)
そ の 他	5 (1)	5 (3)	5 (1)	2 (2)	10 (1)	5 (2)	32 (10)
計	253 (146)	119 (76)	106 (27)	77 (72)	594 (90)	205 (117)	1,354 (528)

産業別状況

産業分類	学 部 名		医 学 部		工 学 部	応用生物科学部	計
	教育学部	地域科学部	医 学 科	看護学科			
農業、林業、漁業						8 (7)	8 (7)
鉱業、採石業、砂利採取業							0 (0)
建設業		3 (3)			14 (6)	1 (1)	18 (10)
製造業	3 (3)	15 (10)			114 (33)	32 (22)	164 (68)
電気・ガス・熱供給・水道業	1 (1)				2		3 (1)
情報通信業	8 (4)	9 (6)			26 (6)	4 (3)	47 (19)
運輸業、郵便業	2 (1)	4 (3)			5	1	12 (4)
卸売業、小売業	4 (3)	7 (6)				4 (3)	15 (12)
金融業、保険業	8 (8)	14 (8)				5 (3)	27 (19)
不動産取引・賃貸・管理業		1 (1)			1		2 (1)
学術研究、 専門・技術サービス業	2 (1)	4 (3)			5 (2)	15 (8)	26 (14)
宿泊業、飲食サービス業	1 (1)						1 (1)
生活関連サービス業、 娯楽業		6 (5)				1 (1)	7 (6)
学校教育	146 (79)			2 (2)	2	1 (1)	151 (82)
その他の教育、 学習支援業	3 (2)	2 (2)			1		6 (4)
医療業、保健衛生	1 (1)	3 (1)		71 (66)		3 (3)	78 (71)
社会保険・社会福祉・ 介護事業	2 (1)	1 (1)					3 (2)
複合サービス事業	2 (2)	5 (4)				2 (2)	9 (8)
宗教、その他のサービス業	4 (3)	2 (2)			1	2 (1)	9 (6)
国家公務		4			2	2 (1)	8 (1)
地方公務	30 (22)	28 (16)			29 (1)	18 (11)	105 (50)
その他							0 (0)
計	217 (132)	108 (71)	0 (0)	73 (68)	202 (48)	99 (67)	699 (386)

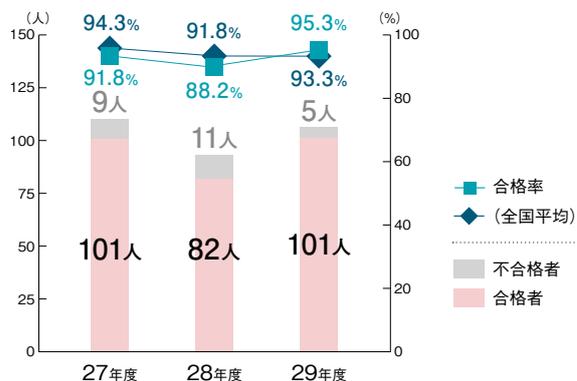
() 内は女子を内数で示す。

■ 国家試験合格状況・教員採用状況

医師国家試験合格状況

	27年度	28年度	29年度
受験者数	110	93	106
合格者数	101	82	101
不合格者数	9	11	5
合格率	91.8%	88.2%	95.3%
(全国平均)	94.3%	91.8%	93.3%

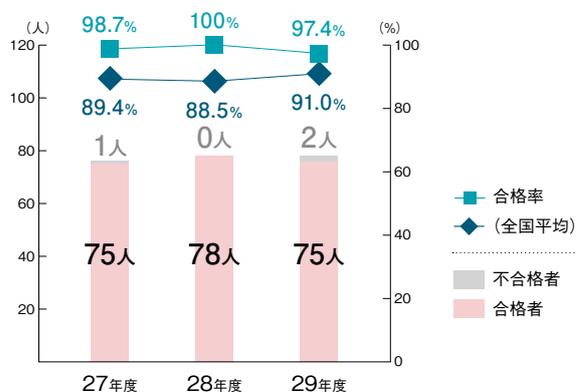
*新卒者のみ



看護師国家試験合格状況

	27年度	28年度	29年度
受験者数	76	78	77
合格者数	75	78	75
不合格者数	1	0	2
合格率	98.7%	100.0%	97.4%
(全国平均)	89.4%	88.5%	91.0%

*新卒者のみ



獣医師国家試験合格状況

	27年度	28年度	29年度
受験者数	33	30	33
合格者数	31	27	33
不合格者数	2	3	0
合格率	93.9%	90.0%	100.0%
(全国平均)	88.0%	87.5%	96.9%

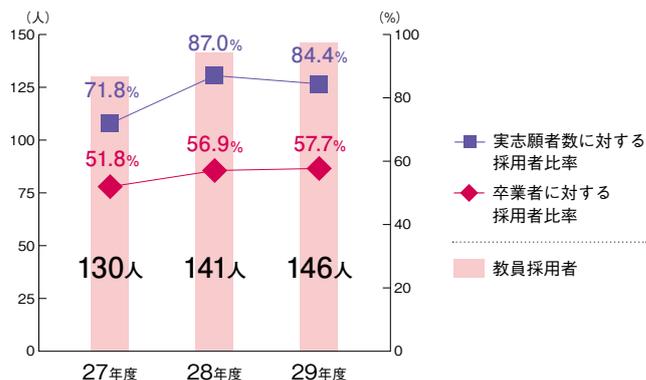
*新卒者のみ



教員採用率 (教育学部)

	27年度	28年度	29年度
卒業者数	251	248	253
教員実志願者数	181	162	173
教員採用者数 (うち臨時採用者数)	130	141	146
志願者数に対する採用者比率	71.8%	87.0%	84.4%
卒業者に対する採用者比率	51.8%	56.9%	57.7%

*学校教育教員養成課程、特別支援学校教員養成課程のみ



■ 大学院 (修士・博士前期課程) 修了者数・進路状況

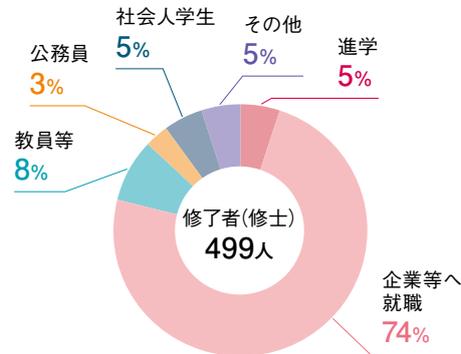
学位授与者数 (修士)

(人)

修 士	平成 29 年度	累 計
教 育 学	68	1,385
地 域 科 学	18	302
再 生 医 学 科 学	10	197
看 護 学	3	69
工 学	307	7,899
応 用 生 物 科 学	93	2,897 *
計	499	12,749

*農学の学位授与者を含む

修士・博士前期課程 修了者進路状況



平成 29 年度修了者進路状況 (修士・博士前期課程)

進路状況

平成30年5月1日現在 (人)

区 分	教育学研究科		地域科学研究科	医学系研究科		工学研究科	応用生物科学研究科	計
	修士課程	専門職学位課程	修士課程	修士課程	博士前期課程	博士前期課程	修士課程	
修了者数	51 (20)	17 (4)	18 (11)	3 (3)	10 (1)	307 (28)	93 (47)	499 (114)
進学者数	1		1			12 (4)	12 (6)	26 (10)
就職者数	42 (14)	5 (1)	8 (5)		9	290 (20)	72 (37)	426 (77)
社会人学生 (現職にとどまる者)	6 (5)	12 (3)	1	3 (3)	1 (1)			23 (12)
臨床研修医								0 (0)
その他	2 (1)		8 (6)			5 (4)	9 (4)	24 (15)
計	51 (20)	17 (4)	18 (11)	3 (3)	10 (1)	307 (28)	93 (47)	499 (114)

産業別状況

産業分類	教育学研究科		地域科学研究科	医学系研究科		工学研究科	応用生物科学研究科	計
	修士課程	専門職学位課程	修士課程	修士課程	博士前期課程	博士前期課程	修士課程	
農業、林業、漁業							7 (4)	7 (4)
鉱業、採石業、砂利採取業								0 (0)
建設業			1 (1)			21 (4)	3 (1)	25 (6)
製造業			2 (1)		3	216 (13)	35 (19)	256 (33)
電気・ガス・熱供給・水道業						6 (1)		6 (1)
情報通信業	1	1 (1)			5	28	2	37 (1)
運輸業、郵便業			1 (1)			3		4 (1)
卸売業・小売業	1		1				2 (1)	4 (1)
金融業・保険業							3 (1)	3 (1)
不動産取引・賃貸・管理業								0 (0)
学術研究、 専門・技術サービス業			1		1	5 (2)	3 (1)	10 (3)
宿泊業、飲食サービス業、 娯楽業								0 (0)
生活関連サービス業、 娯楽業						1	1 (1)	2 (1)
学校教育	29 (6)	4				3	2 (1)	38 (7)
その他の教育・学習支援業	1 (1)						2 (1)	3 (2)
医療業・保健衛生	2 (1)						2 (2)	4 (3)
社会保険・社会福祉・ 介護事業	1 (1)		2 (2)					3 (3)
複合サービス事業							2 (1)	2 (1)
宗教、その他のサービス業	1 (1)					2	1	4 (1)
国家公務	2 (2)					1	2 (1)	5 (3)
地方公務	4 (2)					4	5 (3)	13 (5)
その他								0 (0)
計	42 (14)	5 (1)	8 (5)	0 (0)	9 (0)	290 (20)	72 (37)	426 (77)

() 内は、女子を内数で示す。

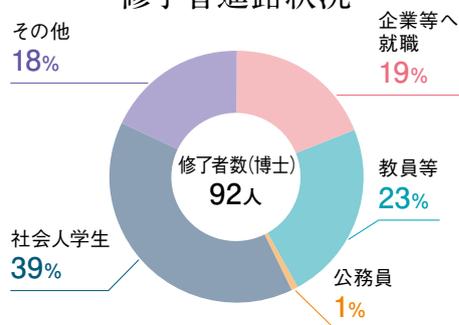
■ 大学院（博士・博士後期課程）修了者数・進路状況

学位授与者数（博士）

(人)

博 士		平成 29 年度	累 計
医 学	課程博士	27	1,007
	論文博士	3	1,484
再生医科学	課程博士	2	70
	論文博士	1	10
工 学	課程博士	13	543
	論文博士	1	78
農 学	課程博士	15	691
	論文博士	2	150
獣 医 学	課程博士	18	507
	論文博士	11	161
薬 科 学	課程博士	2	24
	論文博士	1	3
医 科 学	課程博士	1	14
	論文博士	0	0
計		97	4,742

博士・博士後期課程 修了者進路状況



平成 29 年度修了者進路状況（博士・博士後期課程）

進路状況

平成 30 年 5 月 1 日現在 (人)

区 分	研究科名	医学系研究科		工学研究科		連合農学研究科		連合獣医学研究科		連合創薬医療情報研究科		計
		博士後期課程	博士課程	博士後期課程	博士課程	博士課程	博士課程	博士課程	博士課程			
修了者数		1 (1)	31 (4)	17 (3)	18 (9)	20 (4)	5 (0)				92 (21)	
進学者数												
就職者数			1	7	13 (7)	14 (3)	4				39 (10)	
社会人学生 (現職にとどまる者)		1 (1)	25 (3)	2	1	6 (1)	1				36 (5)	
臨床研修医												
その他			5 (1)	8 (3)	4 (2)						17 (6)	
計		1 (1)	31 (4)	17 (3)	18 (9)	20 (4)	5 (0)				92 (21)	

修了者数には単位修得退学者を含む。

産業別状況

産業分類	研究科名	医学系研究科		工学研究科		連合農学研究科		連合獣医学研究科		連合創薬医療情報研究科		計
		博士後期課程	博士課程	博士後期課程	博士課程	博士課程	博士課程	博士課程	博士課程			
農業、林業、漁業						3 (1)						3 (1)
鉱業、採石業、砂利採取業												0 (0)
建設業				1								1 (0)
製造業				4				1 (1)				5 (1)
電気・ガス・熱供給・水道業												0 (0)
情報通信業												0 (0)
運輸業、郵便業												0 (0)
卸売業・小売業												0 (0)
金融業・保険業												0 (0)
不動産取引・賃貸・管理業												0 (0)
学術研究、 専門・技術サービス業			1					3		1		5 (0)
宿泊業、飲食サービス業												0 (0)
生活関連サービス業、 娯楽業												0 (0)
学校教育				2		9 (6)		10 (2)				21 (8)
その他の教育・学習支援業												0 (0)
医療業・保健衛生										2		2 (0)
社会保険・社会福祉・ 介護事業										1		1 (0)
複合サービス事業												0 (0)
宗教、その他のサービス業												0 (0)
国家公務												0 (0)
地方公務						1						1 (0)
その他												0 (0)
計		0 (0)	1 (0)	7 (0)	13 (7)	14 (3)	4 (0)					39 (10)

() 内は、女子を内数で示す。

■ 学生支援施設

福利厚生施設等

大学会館

食堂・喫茶

第1食堂(452席)
自動販売機コーナー
共用談話室
ルポ(ラーメン専門店)(80席)

売店

売店、書店
現金自動預金支払機

課外活動

大ホール
音楽鑑賞室
第1～第6集会室
第9～第12集会室(9,11和室)

相談窓口

キャリアセンター
サポートルーム
カモミール・カフェ

第2食堂

食堂・喫茶

ホール(520席)
コンビニコーナー(PECO)
(13席)

医学部 教育・福利棟

食堂・喫茶

医学部食堂(156席)

売店

売店、書店

学生寮

施設名	黒野寮(岐阜市柳戸1番1)
室数・収容定員	200(男性) 75(女性)



黒野寮

体育施設・課外活動施設

屋内体育施設		屋外体育施設		課外活動施設	
施設名	施設の内容	施設名	施設の内容	施設名	施設の内容
体育館	第1体育館, 第2体育館更衣室(ロッカー・シャワー), 器具庫 フィットネスルーム	陸上競技場	400m 8コース	体育系サークル 共用施設	共用室10室(1室2サークル), 会議室1室
武道場	(剣道場, 柔道場)	野球場		文化系サークル 共用施設	共用室10室(1室和室) (1室2～4サークル)
弓道場		テニスコート	12面(人工芝6面, 全天候6面)	合宿所	研修室(宿泊室と兼用)4室, 浴室, 補食室
		バレーボールコート	4面(全天候)	学外合宿研修施設	宿泊室30室, ホール 談話室2室 研修医宿泊室6室
		ハンドボールコート	2面(クレー1面, 全天候1面)	自動車庫	
		バスケットボールコート	3面(全天候)	グライダー格納庫	
		サッカー場	1面	ぎゅう舎・馬場	
		ラグビー場	1面	アーチェリー場	
		水泳プール	1基(50m 8コース)		

■ 学生サークル活動

課外活動団体一覧

平成30年5月1日現在

全学行事団体 (3 団体)

- ◆ 岐阜大学祭全学執行委員会
- ◆ 岐阜大学全学春祭実行委員会
- ◆ 岐阜大学学生企業展実行委員会

文化系サークル (33 団体)

- ◆ アコースティックギターサークル「央」
- ◆ 囲碁部
- ◆ 裏千家茶道部
- ◆ 演劇研究会
- ◆ 学生保安消防隊
- ◆ 学生放送研究会
- ◆ 管弦楽団
- ◆ ギター・マンドリンクラブ
- ◆ グルメ研究会
- ◆ 軽音楽部
- ◆ コーラスクラブ
- ◆ GI
- ◆ 児童文化人形劇研究会コロッポ
- ◆ 写真研究会
- ◆ 将棋部
- ◆ 吹奏楽団
- ◆ 生物科学研究会
- ◆ ツキノワグマ研究会
- ◆ 動物園学生くらぶ
- ◆ Dream Box
- ◆ 地域ねこサークル
- ◆ 美術部
- ◆ フォーク村
- ◆ 文芸サークル
- ◆ 邦楽部
- ◆ 星を観る会
- ◆ 漫画研究会
- ◆ Youth Hostel
- ◆ ユネスコ学生クラブ
- ◆ 落語研究会
- ◆ Ryugaku Love
- ◆ 緑化研究会 (Three trees)
- ◆ ロボコンサークル

体育系サークル (35 団体)

- ◆ アーチェリー部
- ◆ 合気道部
- ◆ アメリカンフットボール部
- ◆ 空手道部
- ◆ 弓道部
- ◆ 剣道部
- ◆ 航空部
- ◆ 硬式庭球部
- ◆ 硬式野球部
- ◆ サイクリング部
- ◆ サッカー部
- ◆ 山岳部
- ◆ 自動車部
- ◆ 柔道部
- ◆ 準硬式野球部
- ◆ 少林寺拳法部
- ◆ 水泳部
- ◆ ソフトテニス部
- ◆ 体操競技部
- ◆ 卓球部
- ◆ ダンス部
- ◆ チアリーダー部
- ◆ テコンドー部
- ◆ 馬術部
- ◆ バスケットボール部
- ◆ バドミントン部
- ◆ バレーボール部
- ◆ ハンドボール部
- ◆ フォームラレーシング
- ◆ ボート部
- ◆ よさこいサークル騒屋
- ◆ ラクロス部
- ◆ ラグビー部
- ◆ 陸上競技部
- ◆ ワンダーフォーゲル部

医学部学生団体 (運動部) (19 団体)

- ◆ 水泳
- ◆ バスケットボール
- ◆ 硬式テニス
- ◆ サッカー
- ◆ 陸上
- ◆ スキー
- ◆ ボート
- ◆ ハンドボール
- ◆ 山岳
- ◆ 準硬式野球
- ◆ 軟式テニス
- ◆ ゴルフ
- ◆ ラグビー
- ◆ バドミントン
- ◆ 弓道
- ◆ 剣道
- ◆ バレーボール
- ◆ 卓球
- ◆ 空手

医学部学生団体 (文化部) (15 団体)

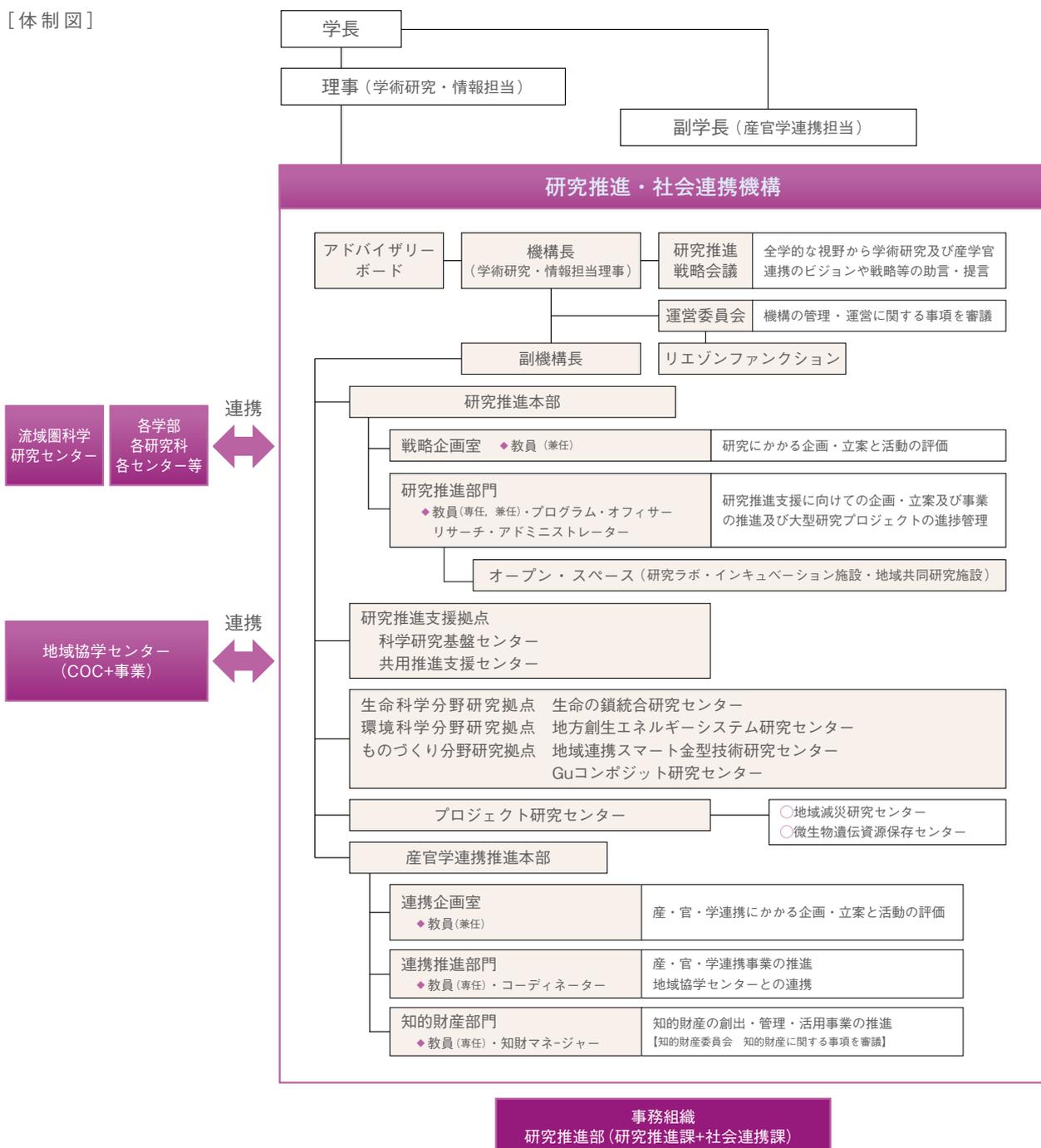
- ◆ GEMs(岐阜救急医療学生研究会)
- ◆ 奥穂高診療クラブ
- ◆ 熱帯医療研究会
- ◆ ぎふ医療ケアサークル
- ◆ 箏曲
- ◆ 囲碁
- ◆ リーベ・バルツェ (軽音)
- ◆ 美術
- ◆ カスタニューエラ (バンド)
- ◆ きりんの会 (臨床技能)
- ◆ GIFMSA(国際医学生連盟岐阜)
- ◆ 英語
- ◆ ピアノ
- ◆ 料理
- ◆ 室内合奏団

上記の他に、同好会 (43 団体) がある。

究める岐阜大学

■ 研究推進・社会連携機構

[体制図]



■ 特色ある研究の取り組み

研究推進支援拠点 科学研究基盤センター（平成30年4月設置）(旧 生命科学総合研究センター)

全学の共同教育研究基盤施設として、個々の教員が保持・整備することが困難な高額・大型器機、維持・管理に労力を要する器機、法令に遵守した施設を整備・提供することにより、生命科学に関連する先進的分野の教育研究支援を行うとともに、放射性同位元素、実験動物の適切な管理を行うことにより、法令遵守のもと本学における教育研究の総合的推進を図ることを目的としている。

【支援部門】(人数) ゲノム研究分野・嫌気性菌研究分野・動物実験分野・機器分析分野・RI実験分野(26人:内 技術職員5人,補佐員9人)
 【寄附研究部門】(人数) 抗酸化研究部門(4人) (計29人)

研究推進支援拠点 共用推進支援センター（平成30年4月設置）

各部局、研究室等に設置されている生命科学系および物性・材料系の研究機器を共用機器として多くの研究者が使用可能になるようなWebシステムの構築を支援すると共に、全学的視野に立ち研究機器の新規導入などを検討することで、岐阜大学の研究基盤の整備を支援することを目的としている。

生命科学分野拠点 生命の鎖統合研究センター（平成28年10月設置）

本センターは生命科学の研究拠点として、生命鎖(糖鎖, 核酸, 蛋白質)を中心とする生体関連分子の開発, 生命鎖及びその周縁分子が関わる生命現象の分子基盤の解明, 新たな生理活性分子, 高機能性分子及び分子複合体による疾患の診断及び治療などへの医療応用並びにこれらの統合により新規創薬及び次世代型医療を可能にすることを目指します。

【研究開発部門】(人数) つくる領域部門(12人), ひも解く領域部門(6人), 活かす領域部門(10人) 計28人

環境科学分野拠点 地方創生エネルギーシステム研究センター（平成30年4月設置）

再生可能エネルギー利用によるCO₂フリー水素エネルギーを「つくる」, 「ためる」, 「はこぶ」, 「つかう」革新的コア技術を基盤に, 岐阜県次世代エネルギービジョンの目標達成に向けて, わが国初の取り組みとなる「中山間地域での地産地消型地域エネルギーシステム」(地方創生のぎふモデル)を産官学連携して社会実装を図ります。このぎふモデルを実現するために, 再生可能エネルギー利用の革新的コア技術の要素課題を個別にブレークスルーするだけでなく, ICT/IoT/AIを活用してエネルギーの生産・貯留・流通・消費を最適化するエネルギーシステム統合技術の確立を目指します。

【研究開発分野】(人数) エネルギー創造分野(36人), キャリア・ストレージ分野(13人), 新産業創出分野(15人), エネルギーシステム統合分野(11人) 計75人(延べ)

ものづくり分野研究拠点 地域連携スマート金型技術研究センター（平成30年4月設置）

岐阜大学のものづくり分野に関する研究力を, AIとIoT分野の研究力でさらに強化し, スマート金型に代表される生産技術開発, 高信頼性設計技術や3D造形技術の開発および人材育成で, 我が国のあらゆる製造企業の国際競争力向上に貢献することを目的としています。

【研究開発部門】(人数) データ解析技術研究部門(10人), 加工技術研究部門(13人), 設計技術研究部門(12人), 3D造形技術研究部門(8人), 人材育成部門(8人), 地域連携部門(4人) 計55人

ものづくり分野研究拠点 Guコンポジット研究センター（平成30年4月設置）

本センターはものづくり分野研究拠点として, 分子の集合体から繊維と樹脂の複合体まで, マルチスケールに複合材料を研究している。物質化学, 生命化学, 機械工学から医学に至る複合領域体制により, テーラードマテリアル&デザインによる少量多品種のものづくりを確立し, 航空機, 自動車などの軽量部材にとどまらず, 人体と関わる複合材料の開発を進めている。また, 東海北陸地区の複合材料3センターのひとつとして, 地域産業との協力体制を推進し, ともにグローバルな展開を目指している。

【研究開発部門】(人数) バリアフリーマテリアル領域(33人), ヒューマンコンポジット領域(25人), コンポジットリサイクル領域(14人) 計56人

プロジェクト研究センター

学際領域のプロジェクト研究を推進する、特色ある2つのプロジェクト研究センターを設置している。

地域減災研究センター（平成27年4月設置）

本センターは、岐阜県と連携し、岐阜県の自然環境・社会情勢を踏まえた防災・減災に係る実践的な研究及び人材育成を行うことを目的として設置した。特に、防災の現場を熟知した県の防災担当職員と先端的な研究を担う大学教員との共同研究を行うことで、研究成果の実務面への活用を推進する。また、異常気象や地震などによる各種災害、生態系・生物多様性劣化による環境資源の変化、災害医療など、県民の安心・安全に係わる多様な問題に総合的に対処し、研究成果や情報提供などを通じた地域貢献を目指している。

【研究部門】(人数) 環境モニタリング部門(9人)、減災技術開発部門(15人)、災害医療部門(13人)、減災社会推進部門(10人)、特任准教授(1人) 計48人

微生物遺伝資源保存センター（平成28年4月設置）

本センターは、病原微生物株の保存センターとして微生物遺伝資源である保有微生物株を維持しており、微生物株の寄託も受け付けている。微生物株の維持保管だけでなく、分譲可能な保有微生物株及び付随する遺伝情報については分譲して社会のニーズに即した研究及び産業応用に資する微生物遺伝資源の利用促進を図り、これらの業務を通して社会に貢献することを目的としている。

【専門分野】(人数) 微生物学(主として細菌学)(3人) 計3人

主な大型研究事業

岐阜大学は、プロジェクト研究センターの他にも、各種大型研究プロジェクトに応募し、採択されている。

文部科学省

革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)(COI)プログラム

年度	プログラム名	事業協働機関
平成25年度～	COI拠点「革新材料による次世代インフラシステムの構築～安全・安心で地球と共存できる数世紀社会の実現～」	金沢工業大学、岐阜大学、他2大学、11機関
柔軟性に富み、長期間に亘って価値を失わない数世紀社会の具現化を図るため、環境性能に優れ、高機能(軽量、長期耐久性、自己修復性、難燃性等)、かつ柔軟な設計が可能で、施工がしやすく、さらには、建設後も移設やリサイクルが容易な「革新材料」を開発する。この革新材料を社会コストの低減と新たな価値の創造が可能な次世代インフラシステム等のアプリケーションに社会実装する。		

科学技術人材育成費補助事業

岐阜大学は、科学技術分野における人材の育成、確保、活躍促進のための事業に応募し、採択されている。

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)

年度	プログラム名	拠点/実施部局等
平成27～32年度	地域循環型女性研究者育成・支援プログラム	岐阜大学、岐阜薬科大学、岐阜女子大学、アビ株式会社
<p>本事業は、岐阜大学が代表機関となり、共同実施機関である岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アビ株式会社とともに、各々の特徴を活かして連携する取り組みである。共同研究を通じて女性研究者の研究力を強化するとともに、地域内での女性研究者の流動性を高めつつ、安定した活躍の場を確保することによって、地方創生にも繋げるプログラムである。</p> <p>本事業では、連携型共同研究プロジェクト支援によって女性研究者の研究力を強化するとともに、女性限定教員公募等のポジティブ・アクション実施、リーダーシップ育成教育等の実施により、女性研究者比率向上と女性研究者の上位職(教授、准教授・講師)登用を積極的に進めることを目標としている。</p> <p>取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティ研究環境整備のための取り組み 女性研究者の研究力向上のための取り組み 女性研究者の上位職への積極登用に向けた取り組み 研究補助員配置制度による支援/メンター制度の体制構築 連携型共同研究プロジェクト支援/人財バンクの利用拡大 企業インターンシップの実施/トップマネージメント・セミナーの開催 		

■ 科学研究費助成事業

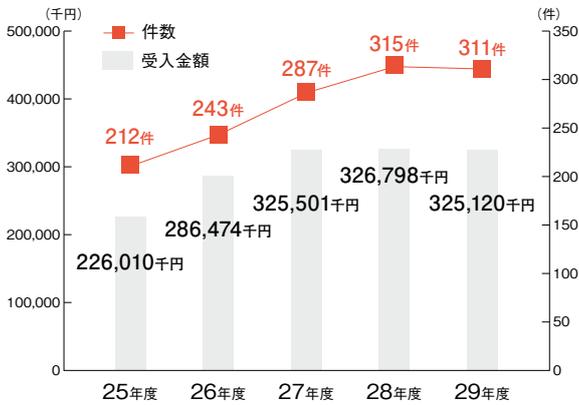
科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金（平成29年度受入実績）

研究種目	件数	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)	部局別件数																					
				教育学部	教育学研究科	地域科学部	医学部	医学系研究科	医学部附属病院	工学部	工学研究科	応用生物科学部	連合農学研究科	連合獣医学研究科	連合創薬医療情報研究科	流域圏科学研究センター	生命科学総合研究支援センター	留学生センター	保健管理センター	地域協学センター	情報連携統括本部	研究推進・社会連携機構	教育推進・学生支援機構		
新学術領域研究	5	34,300	10,290	1				3		1															
基盤研究(A)	7	46,800	14,040	1						1		3	1		1										
基盤研究(B)	51	169,100	50,730	3			2	9	1	14	2	15			3	1						1			
基盤研究(C)	194	201,050	60,315	27	7	7	11	34	21	49	2	25		1	1	4	1	2	1				1		
挑戦の研究(萌芽)/ 挑戦の萌芽研究	18	22,000	6,600	1	1		2	3		4	1	5				1									
若手研究(A)	4	23,600	7,080	1				1		1		1													
若手研究(B)	71	71,400	21,420	7		1	3	14	16	12		12		1	2			1							2
研究活動 スタート支援	9	8,400	2,520						2	2		5													
奨励研究	8	4,100	—						7			1													
成果公開促進費 (学術図書)	1	600	—			1																			
特別研究員奨励費 (国内)	16	14,108	1,172						1		1	1	3	6	3	1									
特別研究員奨励費 (海外)	2	1,700	—							1	1														
国際共同研究 加速基金	2	17,000	5,100	1						1															
総計	388	614,158	179,267	42	8	9	18	64	48	86	7	68	4	8	3	8	6	1	3	1	1	1	1	1	2

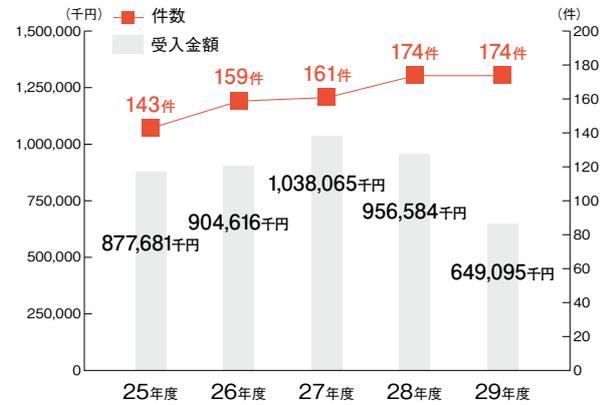
※千円未満切り捨て
※平成29年度交付内定金額

共同研究・受託研究

共同研究



受託研究



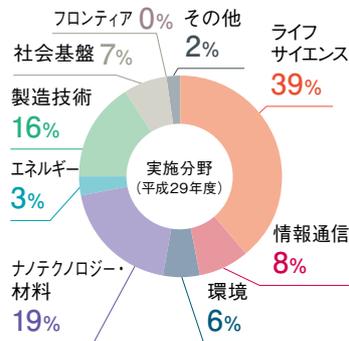
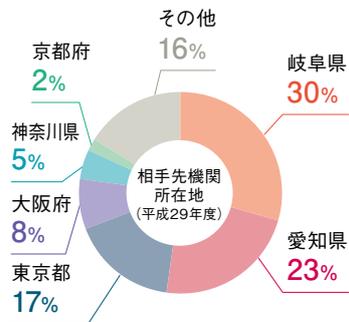
共同研究・受託研究部局別受入実績

平成29年度 (金額単位: 千円)

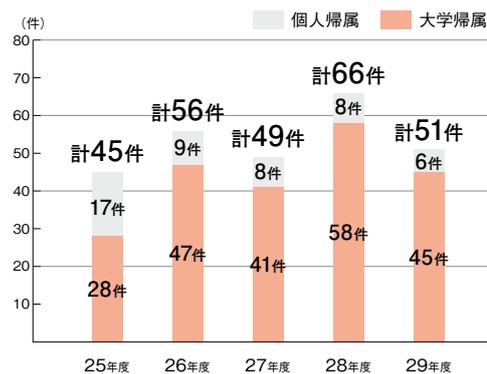
部局	共同研究		受託研究	
	受入件数	受入金額	受入件数	受入金額
教育学部	6	8,983	0	0
地域科学部	1	0	0	0
医学系研究科・医学部	14	20,331	31	133,489
医学部附属病院	13	2,607	70	75,197
工学部	156	188,491	34	222,361
応用生物科学部	89	71,166	18	58,950
連合農学研究科	4	3,138	0	0
連合獣医学研究科	0	0	0	0
連合創薬医療情報研究科	4	5,523	3	69,282
地域協学センター	0	0	2	2,301
流域圏科学研究センター	8	3,233	6	28,601
生命科学総合研究支援センター	4	2,984	3	8,671
保健管理センター	0	0	1	370
教育推進・学生支援機構	0	0	0	0
研究推進・社会連携機構	8	14,770	6	49,874
情報連携統括本部	4	3,894	0	0
合計	311	325,120	174	649,095

複数部局での契約については、受入金額の多い部局で1件として計上されるため、0件になる場合がある。

共同研究実績



発明届



貢献する岐阜大学

■ 地域連携

地方自治体との協定締結

本学は、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に、地方自治体と連携に関する協定を締結して、多様な分野で連携活動を積極的に進めている。平成 29 年度には新たに 3 つの地方自治体と協定を締結し、今後具体的な連携活動を推進していく予定である。

包括連携協定

自治体等	締結日	主な連携活動（平成 29 年度）*
大垣市	H18.3.31	ものづくり名工芸事業への協力
各務原市 各務原商工会議所	H19.10.10	宇宙工学講座の実施
羽島市	H20.2.26	地域協働型インターンシップ（次世代地域リーダー育成プログラムの授業科目）の実施 副市長への統括事業推進コーディネーターの委嘱
岐阜県	H20.3.28	岐阜県・国立大学法人岐阜大学連携推進会議の実施 産学金官連携人材育成・定着プロジェクトの実施 地域コーディネーター研修プログラムによる県職員の受け入れ
関市	H20.9.16	創業支援事業の取り組みへの協力
美濃市	H20.12.17	岐阜大学ブランド野菜「仙寿菜」の生産販売等に関する連携
岐阜市	H21.2.27	「ぎふフューチャーセンター」（COC 事業の多様な人びとが集い議論する「場」）の実施 地域コーディネーター研修プログラムによる市職員の受け入れ
高山市	H21.4.17	ぎふ公民館大学の実施 市職員への地域コーディネーターの委嘱
御嵩町	H21.10.28	低炭素のまちづくり（太陽光発電の利活用など）への協力
郡上市	H24.3.19	地域リーダー実践（次世代地域リーダー育成プログラムの授業科目）の実施 市職員への地域コーディネーターの委嘱
美濃加茂市	H27.9.18	ヤギによる緑地再生に関する共同研究の実施
北方町	H27.11.20	教員の資質向上に向けた連携
中津川市	H27.12.15	地域リーダー実践（次世代地域リーダー育成プログラムの授業科目）の実施 市職員への地域コーディネーターの委嘱
揖斐川町	H28.1.19	揖斐川町久瀬・小津地区の地域活性化支援
岐南町	H28.1.29	岐南町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定への協力
本巣市	H28.5.27	船来山古墳群を題材としたふるさと学習への協力
山県市	H28.7.1	山県市健康増進計画策定への協力
土岐市	H28.8.2	土岐市民大学講座への協力
養老町	H28.10.14	サマースクール（COC+ 事業の参加大学共通プログラム）の実施
八百津町	H28.12.1	水素社会の実現に向けた産学官連携の実施
笠松町	H29.4.17	かさまつまちづくり研究会への協力
下呂市	H29.11.24	地域療育システム事業への協力
白川村	H30.1.22	白川郷学園における研修への協力

*ここに挙げる活動の他、各種審議会、委員会等の委員への就任及び各種研修講師として本学教員が多数協力している。

その他の主な連携協定・覚書

自治体等	締結日	主な協定内容
岐阜県	H23.11.24	災害時等の大学等高等教育機関による支援協力
	H26.3.20	家畜衛生に係る教育及び防疫等の連携
	H27.11.16	食品科学分野の連携
	H28.7.26	水素社会の実現に向けた産学官連携
岐阜市	H18.3.28	岐阜薬科大学との連携
	H20.10.9	災害時における施設開放
多治見市	H22.2.4	産学官連携

地域連携事業の推進

本学は、地域社会の活性化に資することを目的に、平成 19 年度から政策経費「岐阜大学活性化経費（地域連携）」を設け、地域連携事業を推進している。また平成 26 年度からは、大学 COC 事業の一環として、学際的に複数の学問の「協働」、分野・部局横断的な連携の強化、自治体・NPO 団体・地域団体・民間事業者等との「協学」を進めながら、地域の課題解決に貢献する積極的な取り組みを「地域志向学プロジェクト」として位置付け支援している。

○岐阜大学活性化経費（地域連携） 平成29年度：6事業 ○地域志向学プロジェクト 平成29年度：16件

■ 公開講座・シンポジウム・フォーラム

公開講座

本学は、教育研究の成果を広く社会に開放し、地域社会の教育文化の向上に資することを目的に、各学部及びセンターが様々な内容の公開講座を実施している。また、小・中・高校生を対象とした講座では、公開講座のほかに、ものづくり講座などの体験講座を開催している。平成30年度の開講数は次のとおりである。

- 一般市民・社会人を対象とした公開講座 9講座
- 小・中・高校生を対象とした公開講座 7講座

岐阜シンポジウム

本学は、地域の知の拠点として、地球規模あるいは社会全体が抱える課題である環境、バイオ、情報、教育などの21世紀の重要テーマについて、岐阜大学の研究成果とともに最新の情報を社会に発信するため、平成13年度から「岐阜シンポジウム」を年2回程度開催している。

- 平成29年度 第34回「生命の鎖統合研究センター開所式」

岐阜大学フォーラム

大学を活性化するため、優れた学問を発展させてきた一流の研究者による講演会を定期的に開催している。

- 平成29年度 第49回 トランスボーダー社会における女子教育 ～世界で輝く女性のカ～
- 第50回 環境ユニバーシティフォーラム 「森は岐阜の宝もの」 ～この宝を未来に引き継ぐために～

岐阜大学サテライトキャンパス市民講座「アカデミッククラブ」

本学は、地域社会における生涯学習の場を提供するため、サテライトキャンパスにて、名誉教授等を講師とした「アカデミッククラブ」を開催している。

- 平成29年度 全29講座 167回開催 のべ3,001人参加

■ 市民大学講座

岐阜大学シティカレッジプログラム

本学は、「ぎふ中日文化センター」において、提携講座「岐阜大学シティカレッジプログラム」を開催している。この講座は、本学と中日新聞社が共同で行う「市民大学講座」で、本学の教員が社会や暮らしに密着したテーマを取り上げ、楽しく分かりやすく講義している。

- 平成29年度実施講座 11講座

■ 高大連携

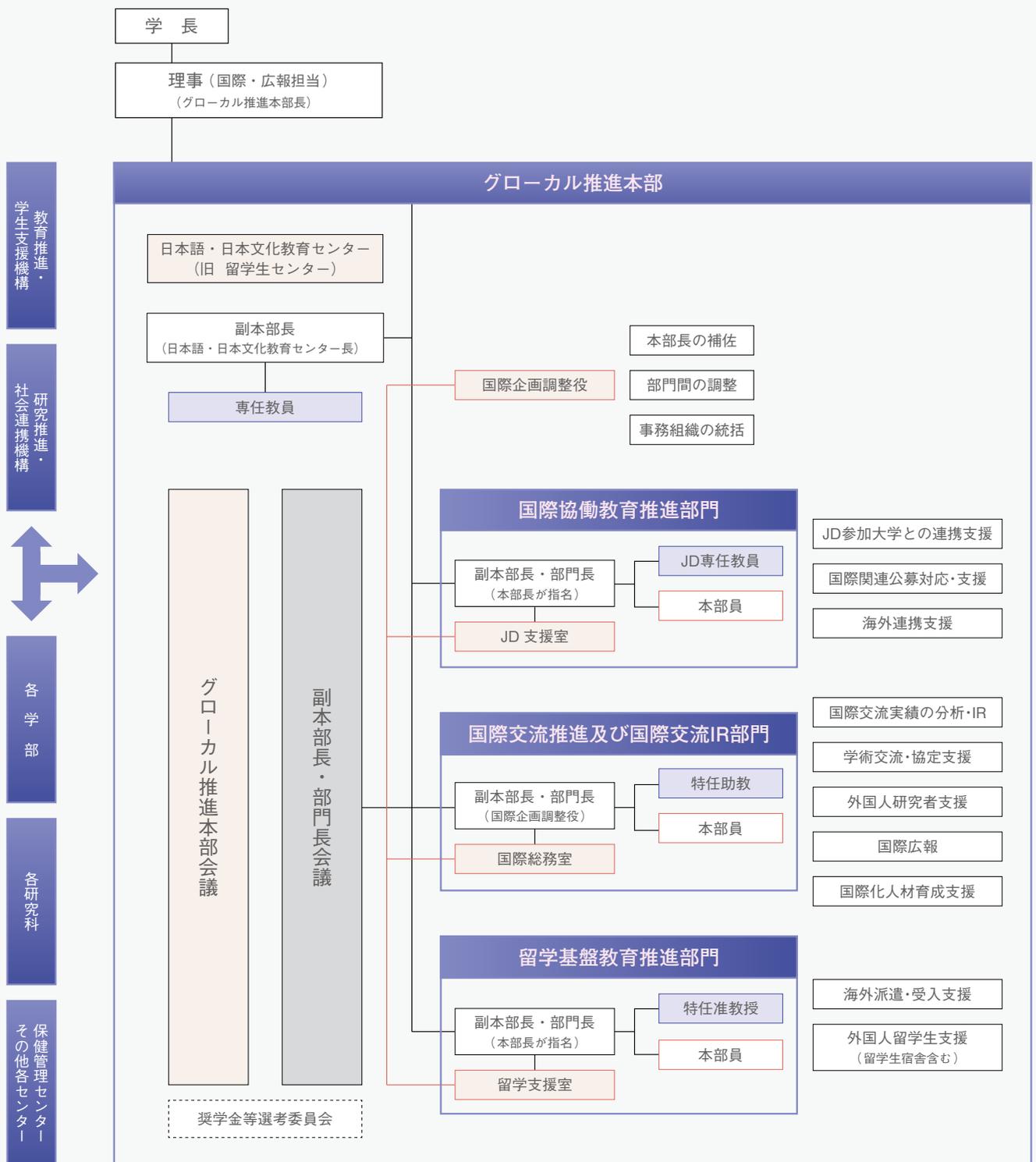
本学は、地元を中心とした高等学校との連携を図り、高校生が様々な研究分野への理解を深め、学問への動機づけや学習意欲の喚起を目的とした事業の実施及び高等学校関係者との意見交換等を通じて高校・大学相互に教育の現状理解を深めるための活動を行っている。

〔平成29年度実績〕

- 高等学校への出前講義 150講座
(平成30年度の開設数は、人文科学21, 社会科学12, 理学32, 応用科学100, 医学・福祉34, 総合19, 計218講座である。)
- ネットワーク大学コンソーシアム岐阜(高大連携・情報発信部会)
・高大連携セミナー(平成29年11月28日開催)

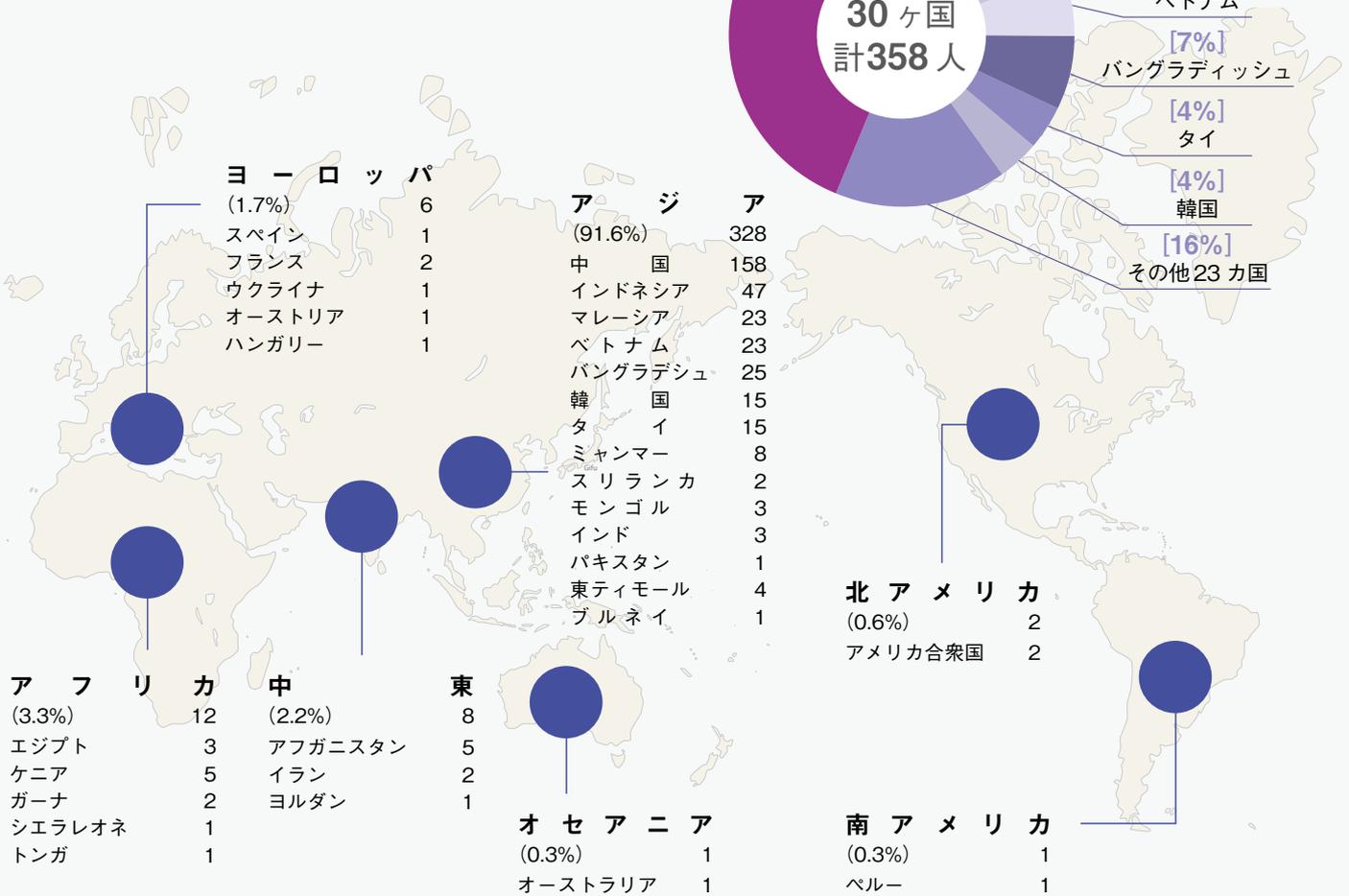
■ グローカル推進本部 (Gifu University Head Office for Globalization: GHOGL)

[体制図]

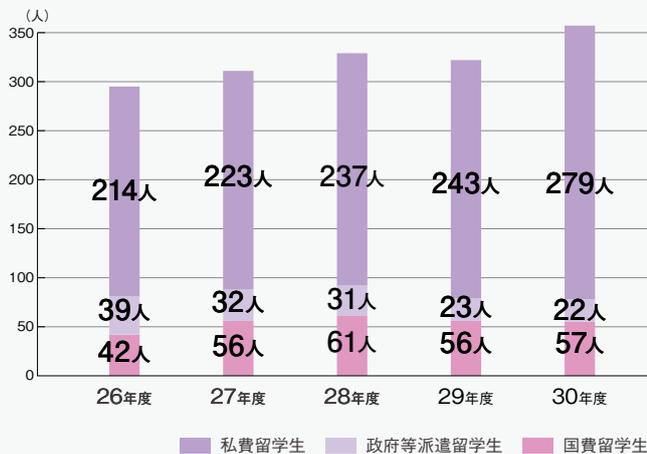


留学生受入・派遣状況

国（地域）別外国人留学生数（平成30年5月1日現在）（人）



外国人留学生受け入れ数の推移



交換留学

(人)

国名	大学名	派遣年度			受入年度		
		27	28	29	27	28	29
中国	広西大学				1		1
	電子科技大学				2	2	2
	華僑大学				1	1	1
	内蒙古大学				1		
	江南大学				3	3	2
韓国	ソウル科学技術大学校				3	3	
	高麗大学校						
タイ	カセサート大学		1		2		1
オーストラリア	グリフィス大学		1	2			
	シドニー工科大学	2	2	9	2	3	
	シドニー大学				1		
スウェーデン	ルンド大学			1	2		
ドイツ	バイロイト大学		1			1	
米国	ノーザンケンタッキー大学	2	1	2	1	1	2
	ウェストバージニア大学	2					
リトアニア	カウナス工科大学						1
合計		6	6	14	19	14	10

夏期短期留学 (サマースクール)

(人)

国名	大学名	派遣年度			受入年度		
		27	28	29	27	28	29
韓国	ソウル科学技術大学校	2	2	2			
	木浦大学校		1		3	3	3
オーストラリア	グリフィス大学	25	16	3			
スウェーデン	ルンド大学				17		
米国	ノーザンケンタッキー大学				2	3	1
タイ	カセサート大学					2	
カナダ	アルバータ大学			30			
オーストラリア	シドニー工科大学						2
中国	電子科技大学						5
マレーシア	マレーシア国民大学						7
合計		27	19	35	22	8	18

■ 学術交流協定締結大学等一覧

大学間協定（18カ国 48大学 1機関）

平成 30 年 5 月 1 日現在

機 関 名	国 名	協定締結日
カンピーナス大学	ブラジル	1984. 8.27
サンディエゴ州立大学	米 国	1985. 5. 7
浙江大学	中 国	1986. 4.21
広西大学	中 国	1986. 4.24
電子科技大学	中 国	1986. 7.21
江南大学	中 国	1986. 9. 3
ルンド大学	スウェーデン	1987. 9.12
ノーザンケンタッキー大学	米 国	1990. 9.26
ソウル科学技術大学校	韓 国	1992. 3.19
グリフィス大学	オーストラリア	1995. 3. 3
ユタ大学	米 国	1997. 5.28
ユタ州立大学	米 国	1997. 5.29
ハノイ工科大学	ベトナム	1998. 6.26
ウェストバージニア大学	米 国	1998.12.16
カセサート大学	タ イ	1999. 8. 5
内蒙古農業大学	中 国	2000. 8. 8
シドニー工科大学	オーストラリア	2000. 8.14
バンノン大学	ハンガリー	2001. 3. 2
アンダラス大学	インドネシア	2001. 4.23
バングラデシュ農業大学	バングラデシュ	2001. 8.23
エルフルト大学	ド イ ツ	2002.12. 4
吉林大学	中 国	2003. 5.20
チェンマイ大学	タ イ	2003. 8. 4
ダッカ大学	バングラデシュ	2004. 6.17

機 関 名	国 名	協定締結日
モンクット王トンプリ工科大学	タ イ	2005. 1.10
華僑大学	中 国	2005. 3.29
同済大学	中 国	2006. 3.16
ランボン大学	インドネシア	2006. 4.25
内蒙古大学	中 国	2007. 2. 6
木浦大学校	韓 国	2008. 2.26
シバジ大学	イ ン ド	2008. 3.18
パイロイト大学	ド イ ツ	2008. 8.22
西南交通大学	中 国	2008. 9. 5
ベンハー大学	エジプト	2009. 3.18
高麗大学校	韓 国	2010. 1.15
カウナス工科大学	リトアニア	2010. 3. 8
ボゴール農科大学	インドネシア	2010.12. 2
内蒙古師範大学	中 国	2011. 6. 8
ヴィータウタス・マグヌス大学	リトアニア	2012. 1.19
ガジャマダ大学	インドネシア	2012. 9.13
シドニー大学	オーストラリア	2012.12. 5
スプラス・マレット大学	インドネシア	2013. 7. 8
パリ第 11 大学	フランス	2014.12.16
タイ教育省基礎教育委員会	タイ	2015. 3.10
インド工科大学グワハティ校	イ ン ド	2014. 9.21
マレーシア国民大学	マレーシア	2016. 9.21
マギル大学	カナダ	2017. 3. 8
アルバータ大学	カナダ	2017. 3.21
レイクヘッド大学	カナダ	2017.10.11

部局間協定

平成30年5月1日現在

機 関 名	国 名	協定締結日	協定部局
チュラロンコン大学 理学部	タイ	1994.3.15	応用生物科学部
コンケン大学 農学部	タイ	2000.3.27	応用生物科学部
コンケン大学 学部間共同開発研究所	タイ	2000.3.27	応用生物科学部
浙江大学 医学院	中国	2000.12.4	医学部
コンケン大学 医学部	タイ	2000.12.18	医学部
国立全南大学校 工学部	韓国	2002.2.6	工学部
中国科学院 水利部水土保持研究所	中国	2008.8.12	インフラマネジメント技術研究センター
国立獣医学科学検疫院 獣医学研究所	韓国	2008.11.4	応用生物科学部
忠北大学校 医学部	韓国	2009.4.17	医学系研究科・医学部
中国水利水電科学研究院 岩土工程研究所	中国	2009.7.24	インフラマネジメント技術研究センター
カフル・エル・シェイク大学 獣医学部	エジプト	2009.11.15	連合創薬医療情報研究科
柳韓大学校 工学系列	韓国	2010.9.29	工学部
ベンガル大学 数学自然科学部	インドネシア	2011.7.20	工学部
アッサム大学 生命科学部	インド	2012.7.19	連合農学研究科
サー・バラシュラムブ・カレッジ	インド	2012.9.17	工学部
モンゴル国立大学 地理地質学部	モンゴル	2012.10.29	応用生物科学部
チュラロンコン大学 理学部	タイ	2012.12.6	連合農学研究科
忠南大学校 工学部	韓国	2013.1.18	工学部
マドリド・カルロス三世大学 工学部	スペイン	2013.7.9	工学部
EMC2 クラスタ・IRT ジュール・ヴェルヌ	フランス	2014.3.13	複合材料研究センター
ドルトムント工科大学 機械工学部	ドイツ	2014.6.23	工学部
マンダレー大学 自然科学部	ミャンマー	2014.8.25	工学部
ブラヴィジャヤ大学 数学自然科学部	インドネシア	2014.12.16	工学部
ヤダナボン大学 自然科学部	ミャンマー	2014.12.16	工学部
メティラ大学 自然科学部	ミャンマー	2014.12.16	工学部
ディアンキマティ工科大学 工学部	ケニア	2014.12.16	工学部
トウンク・アブドゥル・ラーマン大学 理工学部	マレーシア	2014.12.16	工学部
ハメ応用科学大学 バイオエコノミーユニット	フィンランド	2015.1.22	応用生物科学部
慶北大学校 工学部	韓国	2015.2.27	工学部
シーナカリンウィロート大学 教育学部	タイ	2015.3.17	教育学部
アメリカ合衆国国立衛生研究所 国立心肺血液研究所	米国	2015.3.18	工学部
バーデン・ヴュルテンベルク州立太陽エネルギー・水素研究センター	ドイツ	2015.3.20	工学部
アーカンソー大学フォートスミス校	米国	2015.6.8	地域科学部
チュイロイ大学	ベトナム	2015.6.25	連合農学研究科
ブンハッタ大学	インドネシア	2015.7.30	工学部
バンドン工科大学 生命科学工学部	インドネシア	2015.8.11	連合農学研究科
ガーナ大学 基礎応用科学部	ガーナ	2015.8.20	応用生物科学部
ガーナ大学 基礎応用科学部	ガーナ	2015.8.20	連合獣医学研究科
バダン州立大学 数学自然科学部	インドネシア	2015.9.18	工学部
リール第3大学	フランス	2015.10.1	地域科学部
カールスルーエ教育大学	ドイツ	2015.10.21	教育学部
クラクフ工科大学 環境工学部	ポーランド	2015.11.30	工学部・流域圏科学研究センター
チュラロンコン大学 理学部	タイ	2015.12.2	工学部
山西師範大学	中国	2015.12.7	教育学部
ニューサウスウェールズ大学	オーストラリア	2016.4.25	工学部
ハワイ大学 医学部	米国	2016.8.24	医学部
東ティモール国立大学 工学部	東ティモール	2016.8.29	工学部
南フロリダ大学 医学学群	米国	2016.10.20	医学部・保健管理センター
ラジヤヒ大学 農学部	バングラデシュ	2016.12.27	応用生物科学部
南京師範大学 エネルギー機械工学院	中国	2017.7.17	工学部
ダゴン大学 自然科学部	ミャンマー	2017.7.21	工学部
トロムソ大学 ノルウェー北極大学	ノルウェー	2017.9.27	流域圏科学研究センター
南太平洋大学 自然科学・工学・環境学群	フィジー	2017.12.1	応用生物科学部
インドネシアイスラム大学 土木工学・計画学部、数学・自然科学部	インドネシア	2018.2.23	工学部
ラオス国立大学 林学部	ラオス	2018.3.21	連合農学研究科

■ 研究者受入・派遣状況

外国人研究者受入数, 来訪者数

平成 29 年度

外国人研究者	29 人
外国人来訪者	182 人

海外渡航者数

平成 29 年度

出張	677 人
研修	39 人

*非常勤職員を除く

■ 国際交流会館

施設名	施設の概要		
	宿泊室	その他	
国際交流会館 (岐阜市柳戸1番1)	A 棟	単身室 31	会議室・研修室, 談話室
		夫婦室 2	
		家族室 3	
	B 棟	単身室 38	多目的ホール, 和室
		夫婦室 12	
		家族室 4	
	C 棟	単身室 11	
		夫婦室 2	
		家族室 4	

■ 海外オフィス

本学では, 外国人学生・研究者との交流の促進を目的として, 海外オフィスを設置している。

岐阜大学上海オフィス(中国)

201315 中華人民共和国上海市浦東新区御青路 999-45

電話: 86-21-58124777

FAX: 86-21-58124778

岐阜大学スブラス・マレット大学内オフィス(インドネシア)

Sebelas Maret University,
Jl. Ir. Sutami 36A, Surakarta 57126
Indonesia

岐阜大学ダッカ大学内オフィス(バングラデシュ)

University of Dhaka,
Ramna, Dhaka 1000, Bangladesh

岐阜大学広西大学内オフィス(中国)

広西大学
中国広西南寧市大学東路 100 号

■ 役員等一覧

役員等	
学 長	森 脇 久 隆
理 事(企画・評価・基金担当)・副学長	福 井 博 一
理 事(教学・附属学校担当)・副学長	江 馬 諭
理 事(学術研究・情報担当)・副学長	野々村修一
理 事(国際・広報担当)・副学長	鈴 木 文 昭
理 事(総務・財務担当)・副学長	大 藤 生 気
監 事	吉 田 隆 春
監 事(非常勤)	片 桐 多 恵 子
副学長・医学部附属病院長	吉 田 和 弘
副学長(多様性人材活力推進担当)	林 正 子
副学長(産官学連携担当)	王 志 剛
経営協議会委員	
学 長	森 脇 久 隆
理 事(企画・評価・基金担当)・副学長	福 井 博 一
理 事(教学・附属学校担当)・副学長	江 馬 諭
理 事(学術研究・情報担当)・副学長	野々村修一
理 事(国際・広報担当)・副学長	鈴 木 文 昭
理 事(総務・財務担当)・副学長	大 藤 生 気
副学長・医学部附属病院長	吉 田 和 弘
副学長(多様性人材活力推進担当)	林 正 子
副学長(産官学連携担当)	王 志 剛
(株)十八楼 取締役若女将	伊 藤 知 子
岐阜薬科大学長	稲 垣 隆 司
(株)岐阜新聞社 代表取締役社長	碓 井 洋
岐阜プラスチック工業(株) 代表取締役会長	大 松 利 幸
太平洋工業(株) 代表取締役社長	小 川 信 也
岐阜県副知事	神 門 純 一
(独)国立科学博物館 顧問	佐々木正峰
日本放送協会岐阜放送局長	重 森 万 紀
岐阜市長	柴 橋 正 直
(株)十六銀行 取締役頭取	村 瀬 幸 雄

教育研究評議会評議員	
学 長	森 脇 久 隆
理 事(企画・評価・基金担当)・副学長	福 井 博 一
理 事(教学・附属学校担当)・副学長	江 馬 諭
理 事(学術研究・情報担当)・副学長	野々村修一
理 事(国際・広報担当)・副学長	鈴 木 文 昭
理 事(総務・財務担当)・副学長	大 藤 生 気
副学長・医学部附属病院長	吉 田 和 弘
副学長(多様性人材活力推進担当)	林 正 子
副学長(産官学連携担当)	王 志 剛
教育学部長	別 府 哲
地域科学部長	富 樫 幸 一
医学系研究科長	岩 間 亨
工学部長	村 井 利 昭
応用生物科学部長・自然科学技術研究科長	杉 山 誠
連合農学研究科長	千 家 正 照
連合獣医学研究科長	浅 井 鉄 夫
連合創薬医療情報研究科長	丹 羽 雅 之
地域協学センター長	益 川 浩 一
流域圏科学研究センター長	栗 屋 善 雄
保健管理センター長	山 本 眞 由 美
教育学部 教授	山 田 雅 博
地域科学部 教授	洞 澤 伸
医学系研究科・医学部 教授	中 島 茂
工学部 教授	板 谷 義 紀
応用生物科学部 教授	光 永 徹
教育推進・学生支援機構 教授	野 村 幸 弘
研究推進・社会連携機構 教授	細 野 光 章

学部長・センター長等		
教育学部	学部長	別府 哲
	副学部長	山田 敏弘
	副学部長	山田 雅博
	副学部長	今村 光章
	附属特別支援教育センター長	池谷 尚剛
	附属学習協創開発センター長	益子 典文
	附属小・中学校長	須本 良夫
	附属小学校副校長	熊崎 盛敏
	附属中学校副校長	森 嘉長
	地域科学部	学部長
副学部長		和佐田 裕昭
副学部長		洞澤 伸
医学系研究科・ 医学部	研究科長(学部長)	岩間 亨
	副研究科長(副学部長)	中島 茂
	副研究科長(副学部長)	秋山 治彦
	副学部長	奥村 太志
医学部附属病院	附属地域医療医学センター長	村上 啓雄
	病院長	吉田 和弘
	副病院長	村上 啓雄
	副病院長	土井 潔
	副病院長	森田 浩之
	副病院長	森重 健一郎
工学部	副病院長	廣瀬 泰子
	学部長	村井 利昭
	副学部長	板谷 義紀
	副学部長	小林 智尚
	副学部長	鎌部 浩
	附属インフラマネジメント技術センター長	沢田 和秀
	附属知能科学研究センター長	速水 悟
附属応用気象研究センター長	吉野 純	

応用生物科学部	学部長	杉山 誠
	副学部長	光永 徹
	副学部長	志水 泰武
	副学部長	土田 浩治
	附属岐阜フィールド科学教育センター長	大場 伸也
	附属動物病院長	森 崇
	附属野生動物管理学研究センター長	鈴木 正嗣
	附属共同獣医学教育開発推進センター長	海野 年弘
	附属家畜衛生地域連携教育研究センター長	猪島 康雄
	大学院	自然科学技術研究科長
連合農学研究科長		千家 正照
連合獣医学研究科長		浅井 鉄夫
連合創薬医療情報研究科長		丹羽 雅之
図書館	図書館長	担当理事 (野々村修一)
	医学図書館長	森田 啓之
グローバル推進本部	本部長	担当理事 (鈴木文昭)
情報連携統括本部	本部長	担当理事 (野々村修一)
学内共同教育研究支援施設等	流域圏科学研究センター長	栗屋 善雄
	保健管理センター長	山本 眞由美
教育推進・学生支援機構	機構長	担当理事 (江馬 諭)
研究推進・社会連携機構	機構長	担当理事 (野々村修一)
地域協学センター	センター長	益川 浩一
全国共同利用施設	医学部医学教育開発研究センター長	藤崎 和彦

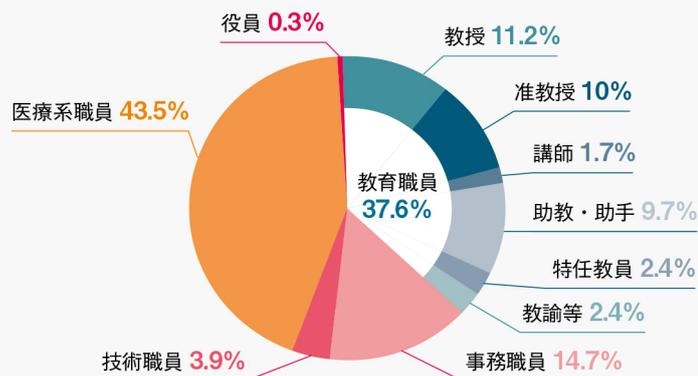
■ 役員・職員数

平成 30 年 5 月 1 日現在

区 分	役 員	教育職員							一般職員			合 計
		教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	特任 教員	附属学 校教諭	事務	技術	医療	
学長	1											1
理事	5											5
監事	1 (1)											1
大学本部									154 (58)	27 (2)		181 (60)
教育学部		39 (5)	36 (7)		11 (2)				16 (8)		102 (22)	
教育学研究科		4 (1)	5		1		3				13 (1)	
教育学部附属小学校								29 (13)			29 (13)	
教育学部附属中学校								27 (5)			27 (5)	
地域科学部		22 (4)	15 (3)	1	4 (2)				8 (4)		50 (13)	
医学部		11 (6)	13 (10)		14 (12)	1 (1)					39 (29)	
医学系研究科		35 (2)	28 (3)	5 (1)	35 (8)		21 (6)		32 (15)	3 (3)	159 (38)	
医学部医学教育開発研究センター		3	1		3 (1)						7 (1)	
医学部附属病院		1	17	34 (5)	74 (9)				67 (26)	11 (4)	1,001 (730)	1,205 (774)
工学部		78 (4)	63 (5)		44 (4)		3		26 (9)	10	224 (22)	
応用生物科学部		45 (1)	38 (6)		25 (11)		2		23 (11)	35 (15)	168 (44)	
連合農学研究科		1									1	
連合獣医学研究科		1									1	
連合創薬医療情報研究科		1			1		2				4	
教育推進・学生支援機構			2				9 (1)		1		12 (1)	
研究推進・社会連携機構		6 (1)	4		7		9 (2)				26 (3)	
流域圏科学研究センター		6	7 (3)		2	1	2				18 (3)	
保健管理センター		1 (1)	1		2 (1)					3 (3)	7 (5)	
地域協学センター		1	1		2 (1)		2				6 (1)	
グローバル推進本部		3 (1)	1 (1)				2 (1)		9 (5)		15 (8)	
情報連携統括本部		2							5 (1)	4 (1)	11 (2)	
男女共同参画推進室							1 (1)				1 (1)	
合計	7 (1)	260 (26)	232 (38)	40 (6)	225 (51)	2 (1)	56 (11)	56 (18)	341 (137)	90 (25)	1,004 (733)	2,313 (1,046)

※ ()内は女性の人数を内数で示す。青字は非常勤監事を外数で示す。特任教員は常勤のみ。

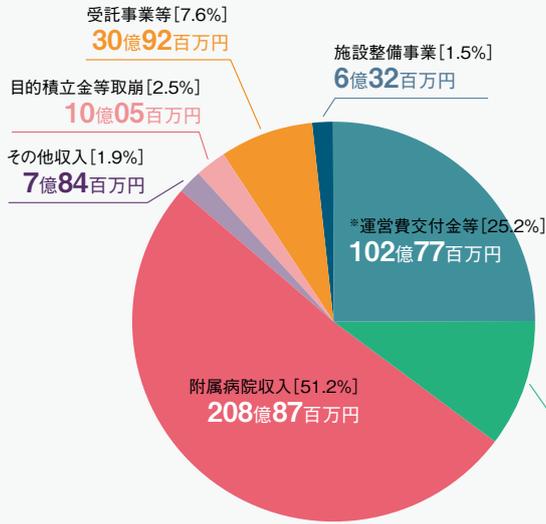
役員・職員の構成比率



■ 予 算

平成 30 年度 予算事項別の構成

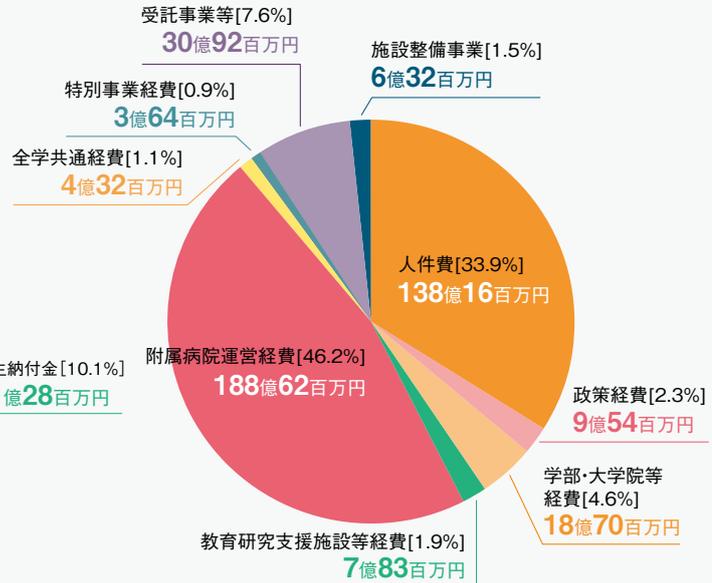
【収 入】



総額 **408億05百万円**

※国立大学法人機能強化促進費を含む。

【支 出】



総額 **408億05百万円**

■ 寄附金

平成29年度 受入実績

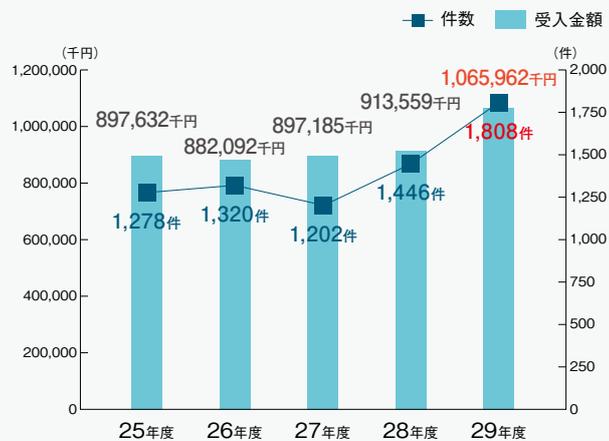
(単位：千円)

区分	件数	金額
岐阜大学基金	823	63,366
教育学部	25	15,624
附属小中学校	9	32,401
地域科学部	29	2,362
医学部	423	578,589
医学部附属病院	91	101,052
工学部	173	127,381
応用生物科学部	191	75,401
連合創薬医療情報研究科	3	6,300
流域圏科学研究センター	16	6,724
生命科学総合研究支援センター	9	33,312
情報連携統括本部	2	750
教育推進・学生支援機構	1	600
研究推進・社会連携機構	11	21,866
地域協学センター	1	200
人材開発部	1	30

合計	1,808	1,065,962
----	-------	-----------

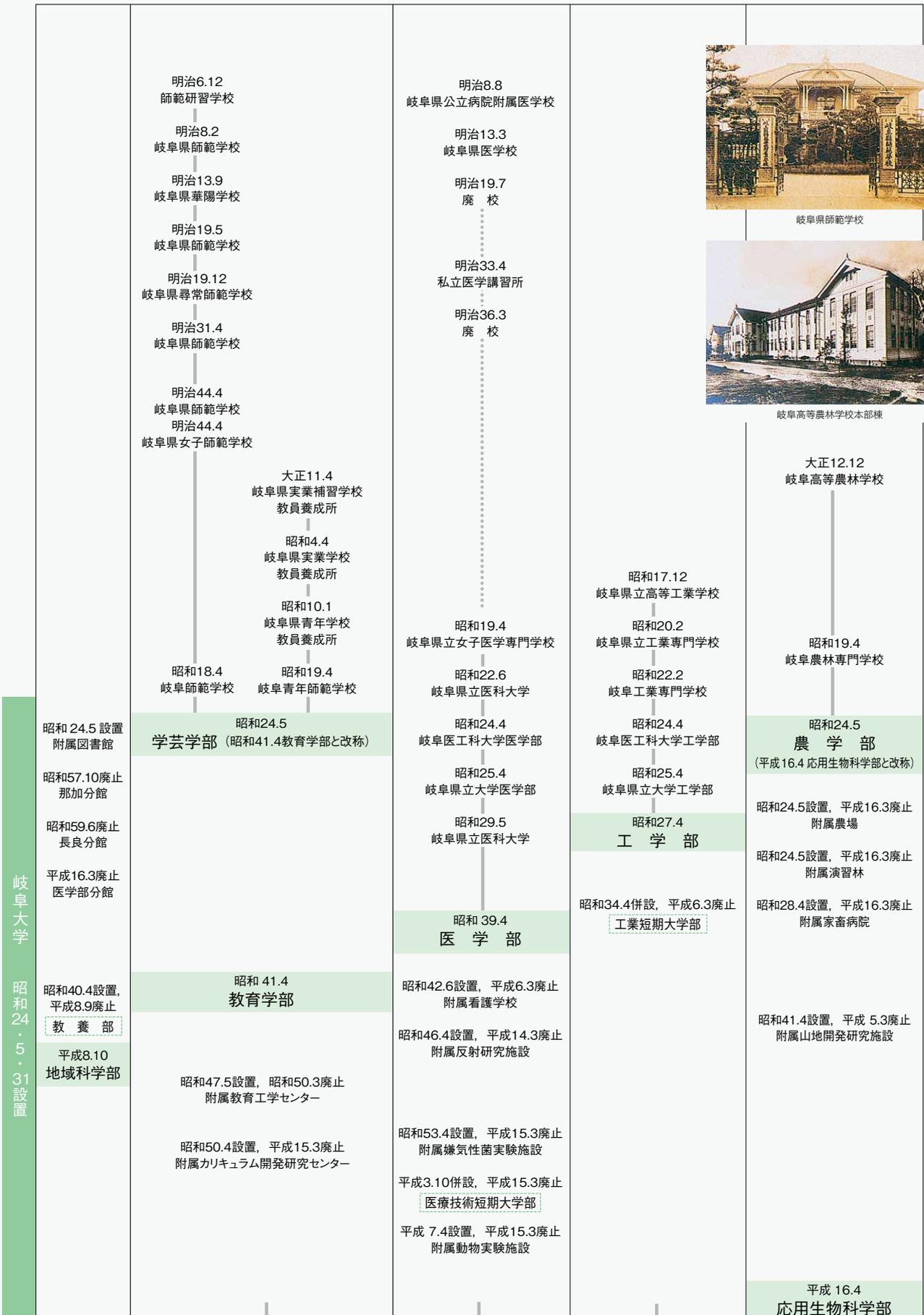
千円未満は切り捨てとし、医学部には寄附講座分 264,500 千円、
 応用生物科学部には寄附研究部門分 20,000 千円、
 生命科学には寄附研究部門分 30,000 千円を含む

※金額は、単位未満切り捨てのため合計は必ずしも一致しません。



沿革

組織



歴代学長	初代	青木文一郎	昭和24年5月31日	～	昭和29年7月1日
	事務取扱	高橋 悌蔵	昭和29年7月1日	～	昭和30年5月31日
	第2代	吉井 義次	昭和30年6月1日	～	昭和36年5月31日
	第3代	四方 博	昭和36年6月1日	～	昭和42年5月31日
	第4代	今西 錦司	昭和42年6月1日	～	昭和48年5月31日
	第5代	林 金雄	昭和48年6月1日	～	昭和52年5月31日
	第6代	館 正知	昭和52年6月1日	～	昭和58年5月31日
	第7代	早野 三郎	昭和58年6月1日	～	平成元年5月31日
	第8代	加藤 晃	平成元年6月1日	～	平成7年5月31日
	第9代	金城 俊夫	平成7年6月1日	～	平成13年5月31日
	第10代	黒木登志夫	平成13年6月1日	～	平成20年3月31日
	第11代	森 秀樹	平成20年4月1日	～	平成26年3月31日
第12代	森脇 久隆	平成26年4月1日	～		

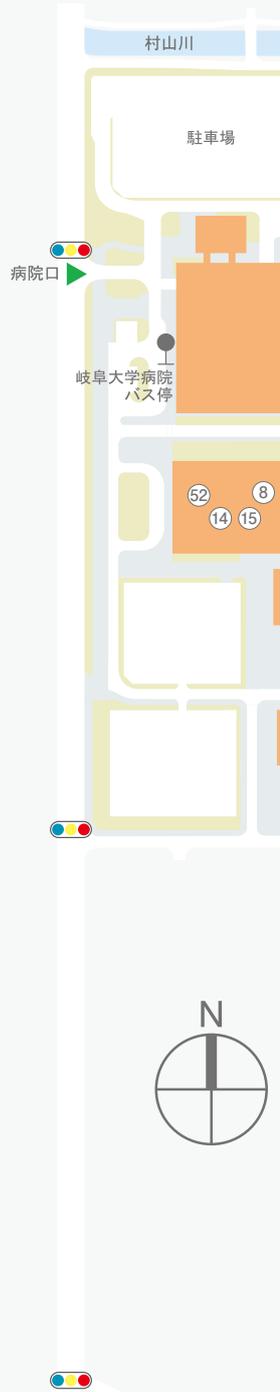
国立大学法人岐阜大学 平成16・4・1設置



■ 建物配置図

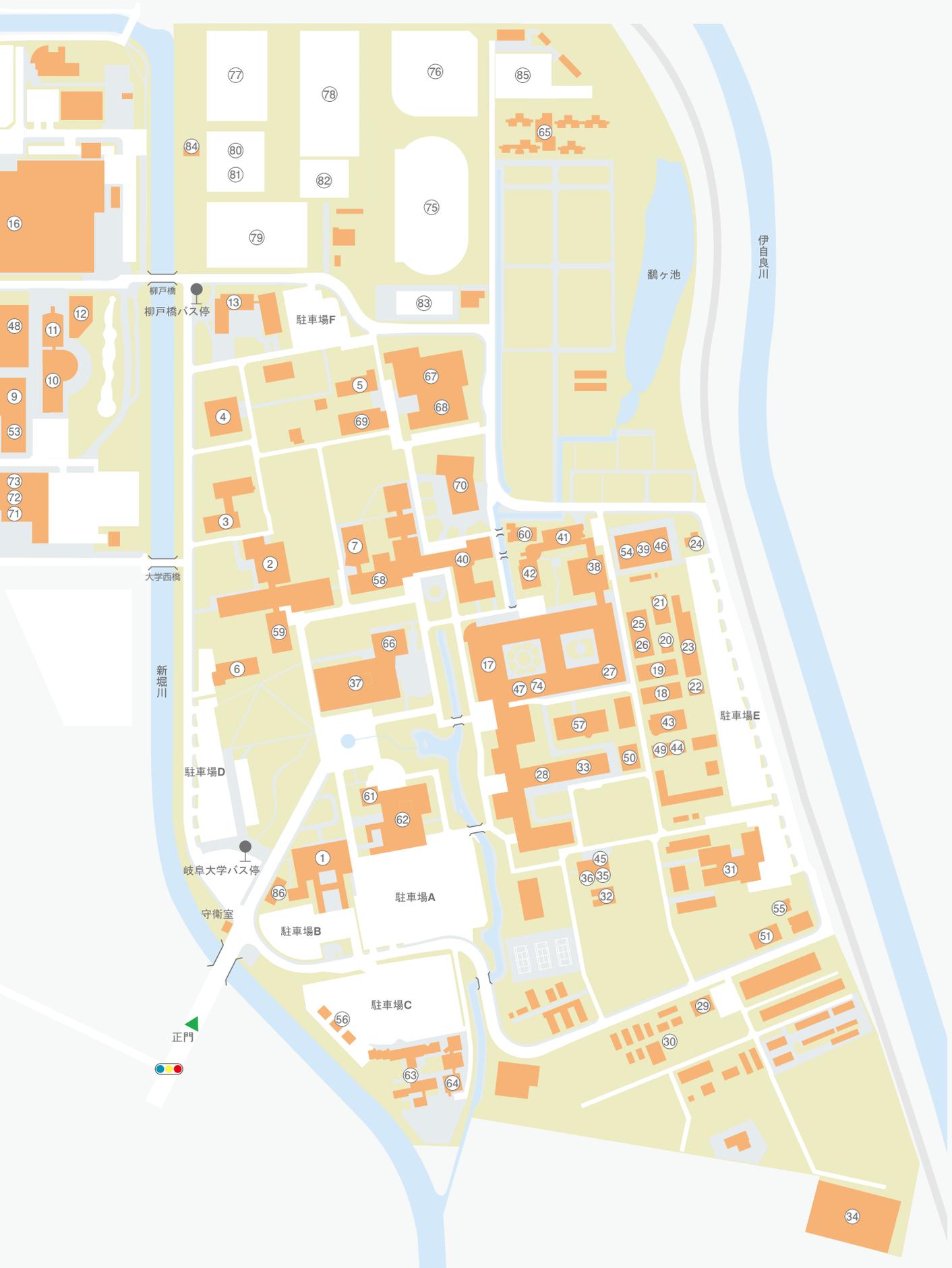
平成30年5月1日現在

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1 大学本部 | 44 地域連携スマート金型技術研究センター |
| 2 教育学部 | 45 生命の鎖統合研究センター |
| 3 美術・技術棟 | 46 Gu コンボジット研究センター |
| 4 音楽棟 | 47 地域減災研究センター |
| 5 保健体育棟 | 48 微生物遺伝資源保存センター |
| 6 附属特別支援教育センター | 49 スマート金型開発拠点棟 |
| 7 地域科学部 | 50 流域圏科学研究センター |
| 8 医学系研究科・医学部 | 51 科学研究基盤センター（ゲノム研究分野） |
| 9 医学部生命科学棟 | 52 科学研究基盤センター（嫌気性菌研究分野） |
| 10 医学部教育・福利棟 | 53 科学研究基盤センター（動物実験分野） |
| 11 医学部記念会館 | 54 科学研究基盤センター（機器分析分野） |
| 12 医学図書館 | 55 科学研究基盤センター（RI 管分野） |
| 13 医学部看護学科 | 56 インフラミュージアム |
| 14 医学教育開発研究センター | 57 情報連携統括本部（情報館） |
| 15 附属地域医療医学センター | 58 日本語・日本文化教育センター（旧 留学生センター） |
| 16 医学部附属病院 | 59 教育学部附属学習協創開発研究センター |
| 17 工学部 | 60 地域協学センター |
| 18 機械系第1実験棟 | 61 保健管理センター |
| 19 機械系第2実験棟 | 62 大学会館 |
| 20 機械系第3実験棟 | 63 国際交流会館 |
| 21 化学実験・実習施設棟 | 64 柳戸会館 |
| 22 防災工学実験棟 | 65 黒野寮 |
| 23 土木系実験棟 | 66 講堂 |
| 24 高電圧実験棟 | 67 体育館 |
| 25 機械工場 | 68 武道館 |
| 26 ものづくり技術教育支援センター | 69 第二体育館 |
| 27 附属インフラマネジメント技術教育センター | 70 第二食堂 |
| 28 応用生物科学部 | 71 岐阜薬科大学校舎 |
| 29 農場管理棟 | 72 岐阜健康長寿・創薬推進機構（7階） |
| 30 附属岐阜フィールド科学教育研究センター | 73 大学院連合創薬医療情報研究科（8階） |
| 31 附属動物病院 | 74 清流の国ぎふ防災・減災センター |
| 32 附属野生動物管理学研究センター | 75 陸上競技場 |
| 33 附属共同獣医学教育開発推進センター | 76 野球場 |
| 34 附属家畜衛生地域連携教育研究センター | 77 サッカー場 |
| 35 大学院連合農学研究科 | 78 ラグビー場 |
| 36 大学院連合獣医学研究科 | 79 テニスコート |
| 37 図書館 | 80 バスケットボールコート |
| 38 総合研究棟Ⅰ | 81 バレーボールコート |
| 39 総合研究棟Ⅱ | 82 ハンドボールコート |
| 40 全学共通教育講義棟 | 83 プール |
| 41 研究推進・社会連携機構 | 84 弓道場 |
| 42 産官学連携推進本部／研究推進本部 | 85 馬場 |
| 43 地方創生エネルギーシステム研究センター | 86 コンビニエンスストア |



0 25 50 75 100m





■ 土地・建物

平成 30 年 5 月 1 日現在

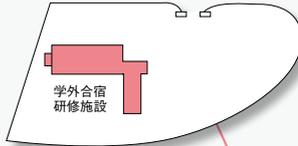
地 区	区 分	建 物 (m ²)	土 地 (m ²)
柳 戸 地 区	本部棟	4,000	520,826
	教育学部	18,686	
	地域科学部	3,680	
	地域科学部・共通教育講義棟	13,433	
	医学部（看護学科）	7,197	
	工学部	48,797	
	応用生物科学部	27,842	
	大学院連合農学研究科・連合獣医学研究科	2,301	
	動物病院	3,297	
	図書館（講堂含む）	8,853	
	研究推進・社会連携機構	7,825	
	流域圏科学研究センター	1,112	
	情報館	2,311	
	地域協学センター	336	
	国際交流会館	4,285	
	大学会館，第二食堂，柳戸会館	6,465	
	体育・課外活動施設	6,513	
	黒野寮	5,045	
	保育園	249	
	排水処理施設，中央機械室， 中継ポンプ室，特高受変電室外	1,847	
	総合研究棟Ⅱ	5,880	
中央家畜保健衛生所	(819)		
医学部・同附属病院	114,424	124,337	
大学院連合創薬医療情報研究科（岐阜薬科大学校舎8階）	(1,305)	(11,421)	
柳戸地区合計	294,378 (2,124)	645,163 (11,421)	
長 良 地 区	学外合宿研修施設	1,304	3,396
吉 野 町 地 区	サテライトキャンパス	(591)	
加 納 地 区	教育学部附属小・中学校	13,531	30,608
大 垣 地 区	旧早野邸セミナーハウス	228	5,538
美濃加茂地区	応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター 美濃加茂農場	1,590	95,832 (18)
下 呂 地 区	応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター 位山演習林	1,103	5,539,302 (2,461)
高 山 地 区	流域圏科学研究センター高山試験地	778	(207,597)
その他	職員宿舎	8,813	18,223
合 計		321,725 (2,715)	6,338,062 (221,497)

() 内の数は借用地で，外数である

学外合宿研修施設 (岐阜市長良竜東町)
大学から約5km 車で約15分



学外合宿研修施設



流域圏科学研究センター
高山試験地 (高山市岩井町)
JR高山駅から約22km 車で約50分



高山試験地



流域圏科学研究センター

実験実習地

岐阜大学
(岐阜市柳戸1番1)

JR岐阜駅から約7km 車で約20分
新幹線岐阜羽島駅から約20km
車で約40分

福井県

長野県



職員宿舎
倉庫
校舎
油脂庫
車庫
機具収納庫
事務所

応用生物科学部附属岐阜フィールド
科学教育研究センター位山演習林
(下呂市萩原町)
JR上呂駅から約10km 車で約20分



演習林建物遠景

応用生物科学部附属岐阜フィールド
科学教育研究センター美濃加茂農場
(美濃加茂市牧野)
JR古井駅から約6km 車で約10分



美濃加茂農場

旧早野邸セミナーハウス
(大垣市昼飯町)
JR大垣駅から約6km
車で約15分



東海道本線
東海道新幹線

愛知県

中央本線

太多線

高山本線



岐阜大学サテライトキャンパス
(岐阜市吉野町6丁目31番地)
岐阜スカイウイング37東棟4階)
JR岐阜駅前

教育学部附属学校 (岐阜市加納大手町)
JR岐阜駅から約1.2km 車で約5分



教育学部附属小学校



教育学部附属中学校



実験実習地

管理棟

所在地・交通案内

	部局・施設等	電話番号	FAX番号	郵便番号	住所
柳戸地区	大学本部	(058) 230-1111 (代表)	(058) 293-2021	501-1193	岐阜市柳戸1番1
	教育学部 / 教育学研究科	293-2203	293-2207		
	・ 附属特別支援教育センター	(058) 293-2350	(058) 293-2355		
	・ 附属学習協創開発研究センター	293-2345	293-3384		
	地域科学部 / 地域科学研究科	(058) 293-3002	(058) 293-3008		
	工学部 / 工学研究科	293-2365	293-2389		
	・ 附属インフラマネジメント技術研究センター	293-2419	293-2419		
	・ 附属知能科学研究センター	(058) 293-2365	(058) 293-2389		
	・ 附属応用気象研究センター	293-2365	293-2389		
	・ ものづくり技術教育支援センター	293-2374	293-2389		
	応用生物科学部	293-2834	293-2840		
	・ 附属岐阜フィールド科学教育研究センター	293-2972	293-2977		
	・ 附属動物病院	293-2962	293-2964		
	・ 附属野生動物管理学研究センター	293-2959	293-2959		
	・ 附属共同獣医学教育開発推進センター	293-3408	293-2841		
	・ 附属家畜衛生地域連携教育研究センター	293-2834	293-2840		
	自然科学技術研究科	(058) 293-2834	(058) 293-2840		
	連合農学研究科	(058) 293-2984	(058) 293-2992		
	連合獣医学研究科	(058) 293-2987	(058) 293-2992		
	図書館	(058) 293-2184	(058) 293-2194		
	地域協学センター	(058) 293-3168	(058) 293-3167		
	流域圏科学研究センター	(058) 293-2061	(058) 293-2062		
	グローバル推進本部 日本語・日本文化教育センター (旧 留学生センター)	(058) 293-3351	(058) 293-2143		
	保健管理センター	(058) 293-2174	(058) 293-2177		
	教育推進・学生支援機構	(058) 293-2133	(058) 293-3382		
	研究推進・社会連携機構	293-2025	293-2022		
・ 科学研究基盤センター	293-3171	293-3172			
・ 共用推進支援センター	293-2025	293-2022			
・ 生命の鎖統合研究センター	293-2025	293-2022			
・ 地方創生エネルギーシステム研究センター	(058) 293-2685	(058) 293-2734			
・ 地域連携スマート金型技術研究センター	293-2496	293-2496			
・ Gu コンボジット研究センター	293-2025	293-2022			
・ 地域減災研究センター	293-3890	293-3891			
・ 微生物遺伝資源保存センター	230-6184	230-6185			
医学部 / 医学系研究科	(058) 230-6000 (代表)	(058) 230-6060	501-1194	岐阜市吉野町6丁目31番地 岐阜スカイウィング37東棟4階	
医学部附属病院	(058) 230-6008	(058) 230-6080			
医学教育開発研究センター	(058) 230-6470	(058) 230-6468			
連合創薬医療情報研究科	(058) 230-7602	(058) 230-7604			
吉野	岐阜大学サテライトキャンパス	(058) 212-0390	(058) 212-0391	500-8844	岐阜市吉野町6丁目31番地 岐阜スカイウィング37東棟4階
加納	教育学部附属小学校	(058) 271-3545	(058) 271-1816	500-8482	岐阜市加納大手町74
	教育学部附属中学校	271-3507	272-3665		
大垣	旧早野邸セミナーハウス	(0584) 71-0151	(0584) 71-0151	503-2216	大垣市昼飯町1777
美濃	応用生物科学部附属 岐阜フィールド科学教育研究センター 美濃加茂農場	(0574) 25-2807	(0574) 25-2807	505-0016	美濃加茂市牧野1918-1
下呂	応用生物科学部附属 岐阜フィールド科学教育研究センター 位山演習林	(0576) 54-1611	(0576) 54-1477	509-2501	下呂市萩原町山之口
高山	流域圏科学研究センター 高山試験地	(0577) 31-1005	(0577) 31-1016	506-0815	高山市岩井町919-47

岐阜大学へのアクセス

自家用車

【名神高速】

- ・ 岐阜羽島 IC から岐阜環状線経由で、約 40 分(約 20km)
- ・ 一宮 IC から国道 22 号を北進し、
- ・ 岐阜市街経由で、約 50 分(約 25km)

【東海北陸自動車道】

- ・ 岐阜各務原 IC から国道 21 号を西進し、
岐阜環状線経由で、約 40 分(約 20km)

バス・タクシー

【JR 岐阜駅 / 名鉄岐阜駅から】

- ・ 岐阜大学まで約 7km、バスで約 30 分、タクシーで約 20 分

鉄道

【JR 名古屋駅 / 名鉄名古屋駅 / 近鉄名古屋駅から】

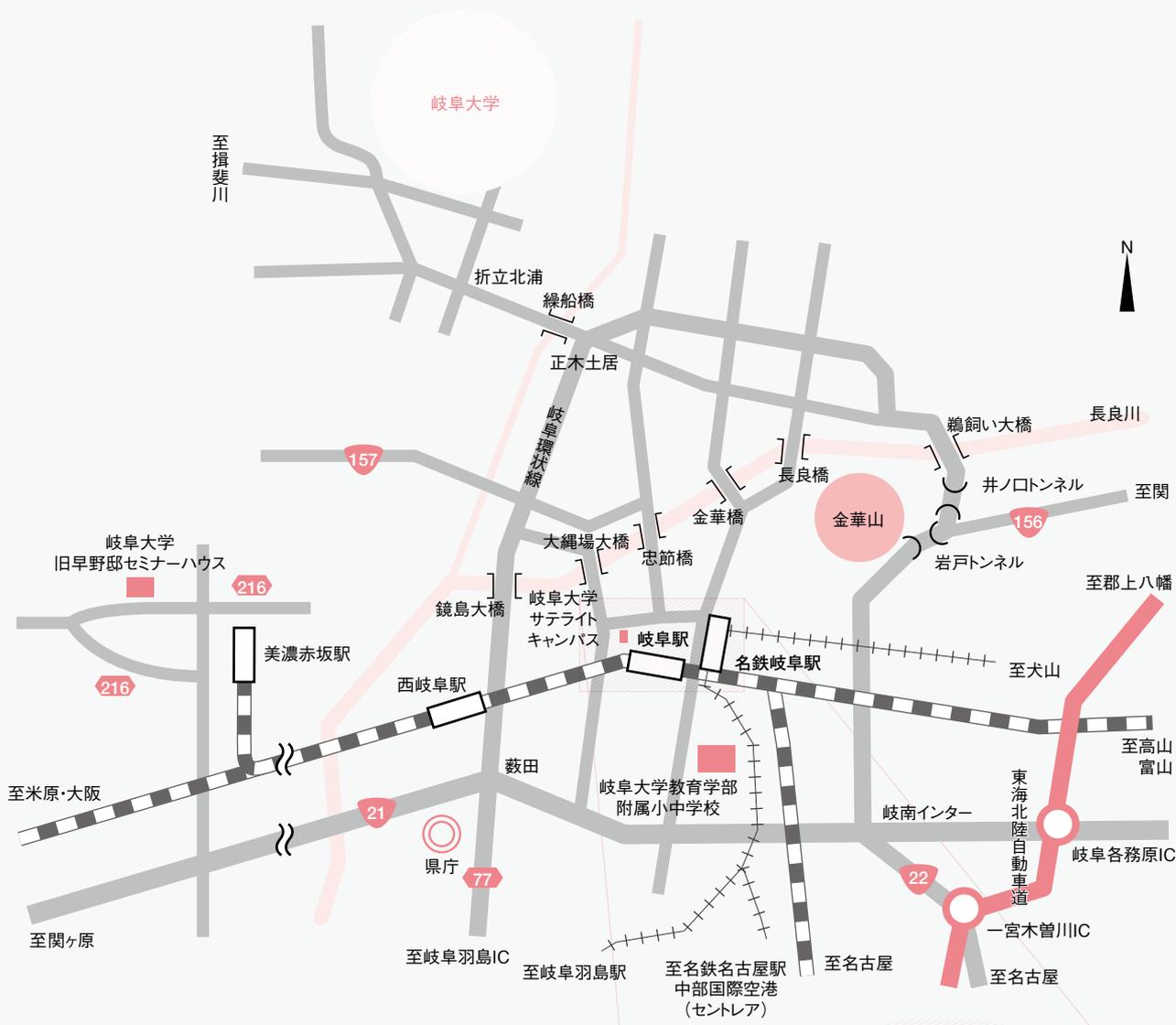
- ・ JR 岐阜駅まで、東海道本線(新快速)で約 18 分
- ・ 名鉄岐阜駅まで、名鉄名古屋本線(特急)で約 29 分

【岐阜羽島駅(新幹線)から】

- ・ 新羽島駅(岐阜羽島駅隣り)から名鉄岐阜駅まで、
名鉄羽島線で約 30 分
- ・ タクシー利用の場合は、岐阜大学まで約 40 分

【中部国際空港から】

- ・ 名鉄岐阜駅まで、名鉄(空港特急・ミュースカイ)で約 57 分

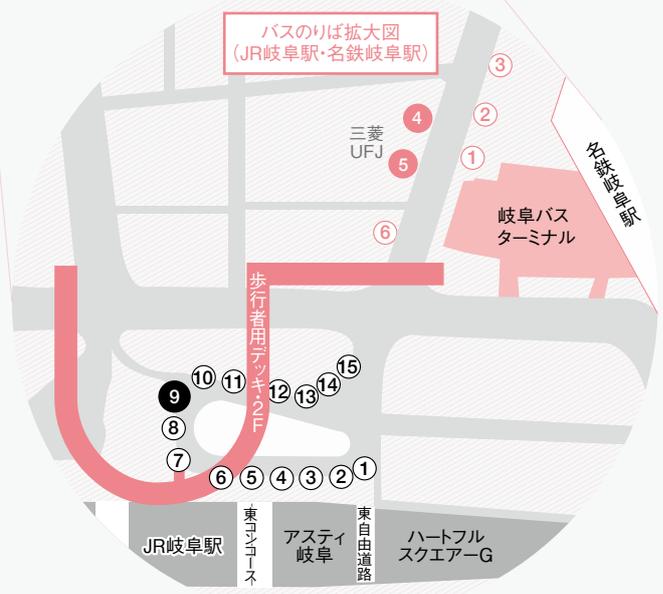


バスのりば案内

JR 岐阜駅北口・バスターミナルのりば				
のりば	路線名	系統	行先	所要時間
JR 岐阜-9	岐阜大学・病院線	C70	岐阜大学病院	約30分
JR 岐阜-9	岐阜大学・病院線	C71	岐阜大学病院	清流ライナー 約25分
JR 岐阜-9	岐阜大学・病院線	C72	岐阜大学病院	直行 約25分
JR 岐阜-9	岐阜大学・病院線	C72	岐阜大学	直行 約30分
JR 岐阜-9	岐南町線(長良橋経由)	N45	岐阜大学病院	約35分

名鉄岐阜のりば				
のりば	路線名	系統	行先	所要時間
名鉄岐阜-5	岐阜大学・病院線	C70	岐阜大学病院	約30分
バスターミナル-E	岐阜大学・病院線	C72	岐阜大学病院	直行 約25分
バスターミナル-E	岐阜大学・病院線	C72	岐阜大学	直行 約30分
名鉄岐阜-4	岐南町線(長良橋経由)	N45	岐阜大学病院	約35分

- ・バスはすべて「岐阜大学」に停車。バス系統Cは、忠節橋経由
- ・直行便は、学休日、土・日曜日運休
- ・清流ライナーは、岐阜大学まで3つの停留所のみ停車する130名乗車可能な連節バス





岐阜大学

〔編集〕岐阜大学総合企画部総務課広報室 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1

TEL. 058-230-1111(代表) 058-293-2009 FAX. 058-293-2021

<https://www.gifu-u.ac.jp/>

